

秋田県災害時交通マネジメント検討会

日時：令和6年9月10日（火）10:00～12:00
場所：秋田河川国道事務所 2階 大会議室
(Web 併用会議)

次 第

1. 開会
2. 挨拶（秋田河川国道事務所長）
3. 議事
 - 1) 検討会の設立について 【資料1】
 - 2) 他地域での事例等について 【資料2】
 - 3) 今後の進め方（案） 【資料3】
 - 4) その他
4. 閉会

秋田県災害時交通マネジメント検討会 座席表

日時：令和6年9月10日（火）10:00～12:00
場所：秋田河川国道事務所 2階 大会議室

東北地方整備局
秋田河川国道事務所長
松本 章 様

モニター

公益社団法人
秋田県トラック協会 専務理事
佐々木 雅幸 様

公益社団法人
秋田県バス協会 専務理事
渡部 信雄 様

一般社団法人
秋田県ハイヤー協会 専務理事
佐藤 武彦 様

秋田大学 理工学部 教授
浜岡 秀勝 様

秋田大学
地域防災減災総合研究センター
教授 水田 敏彦 様

事務局

東北地方整備局 湯沢河川国道事務所
所長 松原 寛 様
(代理：湯沢河川国道事務所
副所長 半田 清美 様)

東北運輸局 秋田運輸支局
首席運輸企画専門官
松原 裕幸 様

秋田県建設部 道路課長
石川 康樹 様

秋田県警察本部 交通部
交通規制課長 高橋 正臣 様

東日本高速道路（株）東北支社
管理事業部 調査役
久保 操 様

東日本高速道路（株）東北支社
管理事業部 交通管理課長
清水 隆博 様

東日本高速道路（株）東北支社
管理事業部 交通技術課長
岸 達比呂 様

出入口

出入口

出入口

事務局

随行者席

事務局

随行者席

事務局

記者席

事務局

記者席

秋田県災害時交通マネジメント検討会

出席者名簿

令和6年9月10日（火） 10:00～12:00

秋田河川国道事務所 2階 大会議室

| 機関名 | 役職 | 氏名 | 備考 |
|----------------|--------------|--------|---------------|
| 東北地方整備局 | 秋田河川国道事務所長 | 松本 章 | |
| 東北地方整備局 | 湯沢河川国道事務所長 | 松原 寛 | 代理出席 半田 清美 |
| 東北地方整備局 | 能代河川国道事務所長 | 小笠原 清 | Web参加 |
| 東北地方整備局 | 道路部 道路計画第一課長 | 石原 佳樹 | 欠席 |
| 東北地方整備局 | 道路部 道路計画第二課長 | 山本 賢 | Web参加 |
| 東北地方整備局 | 道路部 道路管理課長 | 宇部 吉男 | Web参加 |
| 秋田県 建設部 道路課 | 道路課長 | 石川 康樹 | |
| 東日本高速道路（株）東北支社 | 管理事業部 調査役 | 久保 操 | |
| 東日本高速道路（株）東北支社 | 管理事業部 交通管理課長 | 清水 隆博 | |
| 東日本高速道路（株）東北支社 | 管理事業部 交通技術課長 | 岸 達比呂 | |
| 秋田県警察本部交通部 | 交通規制課長 | 高橋 正臣 | |
| 東北運輸局 秋田運輸支局 | 主席運輸企画専門官 | 松原 裕幸 | |
| （公社）秋田県バス協会 | 専務理事 | 渡部 信雄 | |
| （公社）秋田県トラック協会 | 専務理事 | 佐々木 雅幸 | |
| （一社）秋田県ハイヤー協会 | 専務理事 | 佐藤 武彦 | |

【アドバイザー】

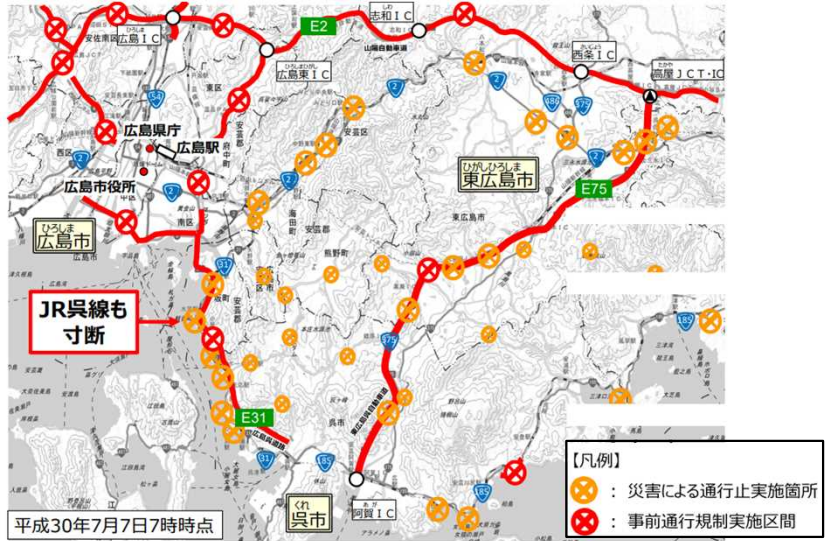
| 機関名 | 役職 | 氏名 | 備考 |
|--------------------------------|-----|-------|----|
| 秋田大学 理工学部 | 教授 | 浜岡 秀勝 | |
| 秋田大学 地域防災減災総合研究センター | 教授 | 水田 敏彦 | |
| 秋田工業高等専門学校 創造システム工学科 土木・建築系 | 准教授 | 葛西 誠 | 欠席 |

「秋田県災害時交通マネジメント検討会」 の設立について

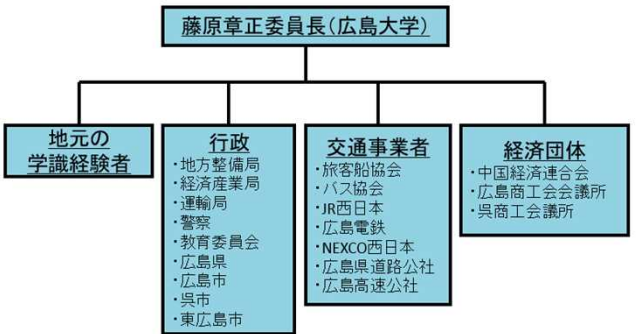
| | |
|---------------------------------|---------|
| 1. 平成30年6月災害時交通マネジメント(広島県) |1 |
| 2. 交通政策基本計画(令和3年5月28日閣議決定) |2 |
| 3. 国土交通省予算概要(令和6年度道路関係予算概要) |3 |
| 4. 令和6年1月能登半島地震(石川県)における対応 |4 |
| 5. 令和5年7月秋田豪雨災害の状況 |5 |
| 6. 秋田豪雨災害での国道7号全線通行止めの影響(朝ピーク) |6 |
| 7. 【概要】秋田県災害時交通マネジメント検討会(案)について |7 |
| 8. 秋田県災害時交通マネジメント検討会設立趣旨 |8 |
| 9. 秋田県災害時交通マネジメント検討会規約(案) |9 |
| 10. 秋田県災害時交通マネジメント検討会構成員(案) |11 |

平成30年6月災害時交通マネジメント(広島県)

- ・平成30年6月28日以降、梅雨前線の活発な活動が続き、7月6日には中国地方で初めて3県(広島・岡山・鳥取)同時に大雨特別警報が発令された。この雨による土砂災害、浸水、河川の氾濫による、甚大な被害が発生。
- ・広島、呉、東広島都市圏では、道路、鉄道の交通ネットワークが広範囲、長期間にわたって寸断。
- ・鉄道被災により、自動車へ交通手段が転換、通行可能な特定の道路に交通が集中し、大規模渋滞が発生した。
- ・この状況を受け、交通マネジメント施策の包括的な検討・調整を行うことを目的に検討会を設置。
- ・平成30年の豪雨災害対応は、“ICの逆走運用”“バス専用レーンの設置”などルールにとらわれない対応実施。



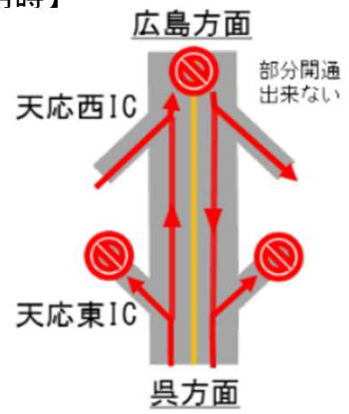
▲広島、呉、東広島都市圏の寸断状況



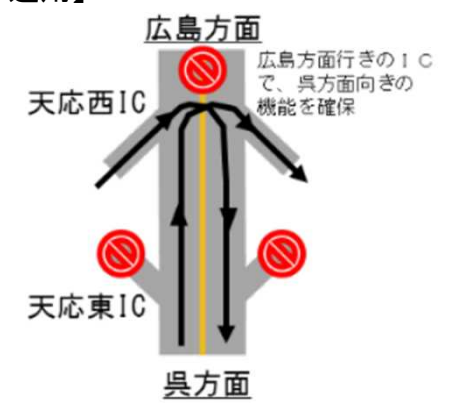
▲災害時マネジメント検討会



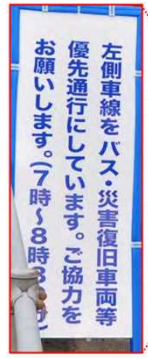
【通常運用時】



【今回の運用】



▲ICの逆走運用(広島呉道路 天応西IC)



▲バスレーンの設置

閣議決定 第2次交通施策基本計画

- ・第2次交通政策基本計画(令和3年度～令和7年度)(R3.5.28閣議決定)において、「災害時の道路交通マネジメントについて、全国各地で地域防災計画に位置付け、行政、学識経験者、交通事業者、経済団体からなる体制を事前に構築し、発災後には、災害時交通マネジメント検討会を直ちに開催し、案内誘導などの対策を速やかに実施する」ことが明記された。

交通政策基本計画について

〔令和3年5月28日
閣議決定〕

交通政策基本法(平成25年法律第92号)第15条第1項の規定に基づき、交通政策基本計画を別冊のとおり定める。

基本の方針C. 災害や疫病、事故など異常時にこそ、安全・安心が徹底的に確保された、持続可能でグリーンな交通の実現

交通サービスは、国民の生命や暮らしを守り、社会・経済活動を維持するための基礎的なインフラであり、平時はもとより、災害や事故、パンデミックなど異常事態の発生時にこそ真価が問われる。このため、異常時において適切に機能を発揮できるよう、ハード・ソフトの両面より、平素から万全の構えを講じる。

あわせて、持続可能で安心・安全な旅客サービスを共有できるよう、人材確保策を含め、健全な事業体制の確保に努める。

また、地球温暖化対策に関する世界的関心が高まる中、2050年のカーボンニュートラル、脱炭素社会の実現に向けて、運輸部門における脱炭素化を加速させる。

【新たに取り組む政策】

<自然災害への対応>

- 激甚化・頻発化する自然災害に対し、安定的な輸送を確保するため、自然災害リスクの特定と対策、防災の基本方針の策定等、交通事業者の防災力向上及び事業継続の取組を促進・支援する「運輸防災マネジメント」を実施する。

- 災害時の道路交通マネジメントについて、全国各地で地域防災計画に位置付け、行政、学識経験者、交通事業者、経済団体からなる体制を事前に構築し、発災後には、災害時交通マネジメント検討会を直ちに開催し、案内誘導などの対策を速やかに実施する。

- 経営基盤の弱い鉄道等が被災した後の復旧に向けた支援を促進するとともに、関連事業との連携を図りながら早期復旧に取り組む。

- 自然災害の発災時に適時適切な住民避難や計画運休、車両避難、迅速な支援物資の輸送が実施できるよう、産学官が持つ技術やノウハウ、人材・資金等のリソースを最大限活用した予測精度向上等に向けた技術・観測予測システム開発等による防災気象情報の改善・高度化や気象データ利活用促進、行政機関や交通事業者間の連携を含めた対応策について検討を進める。

<交通インフラ・システムの老朽化対策>

- 交通インフラの老朽化対策として、「予防保全」への本格的な転換に取り組むとともに、新技術の活用や既存のインフラの集約・再編等に取り組む。

- 人口減少下における老朽化設備を保有する地方鉄道のあり方について、BRT への

国土交通省 予算概要(令和6年度 道路関係予算概要)

・人流・物流を支える道路ネットワークのパフォーマンスを向上する取組として、被災後速やかに効果的・効率的な対策を講じられるよう準備

⇒行政、学識経験者、交通事業者、関係機関等で構成する検討会の体制を事前に構築

3 人流・物流を支えるネットワーク・拠点の整備

(3) パフォーマンス・マネジメントの展開

■生産性向上やカーボンニュートラルへの貢献のため、求められるサービスレベルに応じて、道路ネットワークのパフォーマンスを向上する取組（パフォーマンス・マネジメント）を推進します。

<背景/データ>

・交通量の偏りや渋滞頻発箇所など、偏在する道路ネットワークの課題によるパフォーマンスの低下

〔 実勢速度*1 (36km/h) は自由走行速度*2 (61km/h) の 6割程度 (R3年度時点) 〕

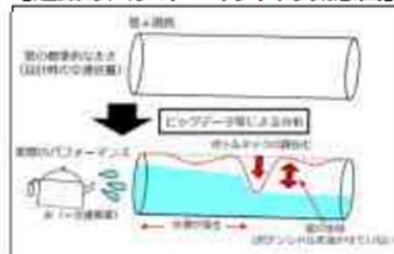
【サービスレベルの観測・評価】

○サービスレベルをデータで評価し、効果的・効果的な対策を実施するために必要なデータの取得や基準等の整備を推進

○地域道路経済戦略研究会*3等を活用し、サービスレベルの観測・評価手法の検討やパフォーマンス向上に向けた取組を推進

○ETC2.0等のビッグデータを活用することで、従来の全国道路・街路交通情勢調査を見直し、新たな道路交通調査体系を構築

【道路のパフォーマンスの概念図】



【新たな道路交通調査体系】



【パフォーマンス向上の取組】

○求められるサービスレベルに応じた局所的・面的な渋滞対策や、2+1車線化*4、ラウンドアバウト*5の活用など新たな対策を推進

○既設インフラが持つポテンシャルの更なる有効活用を図るため、地域との協働や変動料金制を含むTDM等、需要サイドとの連携を推進

○有事でもパフォーマンスを発揮するため、災害時交通マネジメント*6を被災後速やかに実施

【新たな対策の事例】

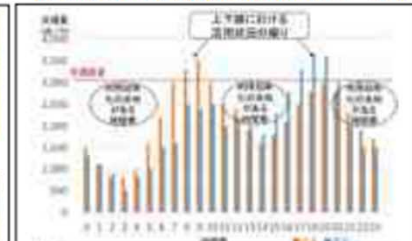


2+1車線 (E39 ノルウェー)



ラウンドアバウト (スタバングル ノルウェー)

【交通容量の有効活用のイメージ】



特定の時間帯・車線に集中している交通量を分散し、交通容量を最大限活用

- *1: 平均旅行速度 (高速道路、一般国道、主要地方道及び都道府県道を対象にETC2.0より算出)
- *2: 上位10%マイル速度 (算出条件は同上)
- *3: 有識者の意見を踏まえ、道路空間を活用した地域経済活性化戦略や社会実験・実装に関する研究を実施
- *4: 既設の2車線道路に付加車線を設置し、交通容量を拡大する手法
- *5: 信号待ち時間の削減による交通円滑性の向上や、5枝以上の多枝交差点における処理能力の向上による交通容量の拡大等が見込まれる交差点において導入を検討
- *6: 国土交通省、警察、地方公共団体、高速道路会社、学識経験者、関連団体、事業者等で構成される災害時交通マネジメント検討会を通じて実施

令和6年1月能登半島地震(石川県)における対応

- ・令和6年1月1日に発生した能登半島地震では、**自動車専用道路、国道、県道、市町道等、鉄道が広範囲に被災。**
- ・国道249号の緊急復旧作業を順次実施。沿岸部での被災が甚大なため、内陸側、沿岸側両面から復旧を実施。
- ・石川県災害時交通マネジメント会議を開催し、道路被害状況、現状の交通課題等について、**関係機関相互に幅広く意見交換**を行っており、被災地を往来する車両が通行可能な道路に集中することで渋滞が発生している点が議論されている。
- ・会議では、**一般車両の出控えを呼びかけることとし、道路の通行情報や復旧情報を掲載する「道路復旧見える化マップ」**の公開・周知するなどを実施している。

令和6年能登半島地震 能登半島 道路の緊急復旧の状況

令和6年5月28日(火)7時00分時点
国土交通省・石川県

○1/2から幹線道路の緊急復旧に着手。24時間体制を構築し、地元を中心とした各建設業協会や(一社)日本建設業連合会の応援を受け、緊急復旧作業を順次実施。
○沿岸部では被災箇所が多数確認されているため、自衛隊と連携し、内陸側・海側の両方からくしの歯状の緊急復旧も進めており、13方向で道路を確保。
○孤立集落は1/19に実質的に解消。引き続き、水道・電力などの要望、自治体の要請を踏まえ、緊急復旧を実施。

主要な幹線道路における緊急復旧の進捗率

| | | | |
|-------------|-----|----|--------------|
| | 1/7 | 7時 | 現在 |
| 半島内の主要な幹線道路 | 約6割 | → | 約9割 |
| うち国道249号 | 約2割 | → | 約8割 |
| 沿岸部※1 | | | (迂回路を考慮、約9割) |
| 沿岸部への到達※2 | 6方向 | → | 13方向 |

※1: 輪島市門前町～珠洲市役所、※2: 内陸側・海側の両方

孤立地区数の推移※3

| | |
|------------|--------|
| 1月5日8時 | 33地区 |
| (最大3,345人) | |
| 1月19日 | 実質的に解消 |
| ※4 | |

※3: 内閣府防災資料より
※4: 2/13に全て解消

生活インフラ復旧に必要な重要箇所の緊急復旧※5

| | |
|-----------------|----------|
| 優先復旧の要望箇所への対応状況 | 43/43箇所 |
| | (5月8日完了) |

※5: 水道、水道、電力、通信、救急事業者より聞き取り

写真③ 国道249号緊急復旧完了

1/14 復旧前 | 1/15 復旧後

凡例

- 国土交通省対応(通行可能)
- 県対応(通行可能/この他でも作業を実施)
- 自衛隊対応(通行可能)
- 自動車専用道路(通行可能)
- 被災規模 大
- 被災規模 大(緊急車両等の通行を確保済)
- 沿岸部への到達点

▲緊急復旧状況(令和6年1月12日時点)

重要・緊急

石川県
・北陸地方整備局

令和6年1月4日(木)
取り扱い: 配布を以て解禁

石川県能登地方への出控えに関するお願い

石川県能登地方において最大震度7の地震が発生し、被災箇所の復旧に全力で取り組んでいます。
被災地にお住まいの親族・知人等の安否を確認したい、個人で支援物資を届けたいというお気持ち理解致します。
しかし、現地では余震も続いており、多くの車両が人命救助・復旧作業を行っています。
通行可能な一部の路線では、被災によって道路幅が狭いなど原因で渋滞も発生するなど、円滑な物資の輸送にも支障となっています。また、一般の車両が混在することにより、人命救助や復旧作業に支障が生じることから、一般車両の能登地方への移動は控えて頂くようご理解とご協力をお願い致します。

【①主な被災状況(別添1)】

- ・能越自動車道 道路崩落、路面亀裂
- ・のと里山海道 道路崩落
- ・国道249号 土砂崩落

【②現在の交通状況(別添2)】

- ・金沢方面から能登半島方面に向かう車両が国道249号に集中し混雑がみられる
- ・七尾市内では、警察により災害復旧車両を優先した通行制限を実施

※最新の交通状況はHP等でご確認ください。

<記者発表先> 新潟県記者クラブ、新潟県記者クラブ、新潟県内専門紙、富山県記者クラブ、富山県内専門紙、石川県記者クラブ、石川県内専門紙

お問い合わせ先

■国が管理する道路に関すること
国土交通省 北陸地方整備局 道路部 道路計画課 課長 北 出一雅 (内線 4211)
課長補佐 長谷川 孝志 (内線 4214)
新潟県中央区奥坂町1-1-1 電話 025-280-8880 (代表)

■県が管理する道路に関すること
石川県 道路整備課 課長 小寺 基
石川県金沢市桜月1-1 電話 076-225-1111 (代表)

▲出控えに関するお願い

「道路復旧見える化マップ」掲載情報

1/12 17時頃公表予定 ※掲載情報は今後随時更新予定

URL <https://www.mlit.go.jp/road/r6noto/index2.html>

七尾市から輪島市・珠洲市への所要時間・速度状況(毎日更新)

▲道路復旧見える化マップ

令和5年7月秋田豪雨災害の状況

- ・令和5年7月秋田豪雨災害に伴う事前通行規制及び被災による通行規制が発生。
- ・事前通行規制区間は概ね1日程度で解除されているのに対し、冠水・土砂崩れといった被災による通行規制については、2日以上にわたって全面あるいは片側通行止めとなっていた。
- ・通行規制状況については、関係機関それぞれで個別調整により対応を行っていた。

▼令和5年秋田豪雨に伴う通行規制実績（秋田河川国道事務所管内の高規格道路、直轄国道及び秋田中央道路・明田地下道）

| 通行止め区間 | | 規制開始日時 | 規制終了日時 | 方向 | 要因 |
|--------|--------------------------|--------------------|---------------------|----|--------|
| 路線 | 区間 | | | | |
| 秋田道 | 秋田南IC～秋田中央IC | 2023/7/15(土) 10:38 | 2023/7/16(日) 18:00 | 上下 | 事前通行規制 |
| 秋田道 | 秋田中央IC～秋田北IC | 2023/7/15(土) 13:40 | 2023/7/16(日) 18:00 | 上下 | 事前通行規制 |
| 市道 | 明田地下道 | 2023/7/15(土) 14:00 | 2023/7/17(月祝) 22:00 | 上下 | 冠水 |
| 秋田道 | 秋田北IC～五城目八郎瀧IC | 2023/7/15(土) 16:55 | 2023/7/16(日) 18:00 | 上下 | 事前通行規制 |
| 県道 | 秋田中央道路 | 2023/7/15(土) 18:00 | 2023/8/1(火) 6:00 | 上下 | 冠水 |
| 日沿道 | 河辺JCT～岩城IC | 2023/7/15(土) 20:55 | 2023/7/16(日) 18:00 | 上下 | 事前通行規制 |
| 秋田道 | 大曲IC～秋田南IC | 2023/7/15(土) 20:55 | 2023/7/16(日) 18:00 | 上下 | 事前通行規制 |
| 国道46号 | 道の駅雫石あねっこ～ 仙岩情報ステーション | 2023/7/15(土) 23:30 | 2023/7/16(日) 17:00 | 上下 | 事前通行規制 |
| 日沿道 | 岩城IC～象瀧IC | 2023/7/16(日) 1:00 | 2023/7/16(日) 18:00 | 上下 | 事前通行規制 |
| 国道7号 | 臨海十字路-土崎臨海十字路 | 2023/7/19(水) 11:10 | 2023/7/21(金) 16:00 | 上り | 土砂崩れ |
| 国道7号 | 臨海十字路-土崎臨海十字路 | 2023/7/19(水) 11:10 | 2023/7/20(木) 12:00 | 下り | 土砂崩れ |
| 県道 | 秋田中央道路 | 2023/8/1(火) 6:00 | 2023/8/25(金) 6:00 | 片交 | 冠水 |



▲国道7号民地崩落



▲臨海十時路交差点冠水



▲国道7号冠水（無人の車あり）

秋田豪雨災害での国道7号全線通行止めの影響(朝ピーク)

- ・国道7号にて土砂崩れが発生し、通行止めを行った時の速度帯を示したもの。
- ・国道7号の交通が県道56号、市道外旭川新川線へ集中し、朝夕の通勤時間帯に渋滞が発生。
- ・この災害による通行止めは最大3日間と短期間での交通解放が可能であった。
- ・このような災害が近年、頻発しており、災害に対する備えが必要となる。



▲平常時・通行止め時の速度の変化

【概要】秋田県災害時交通マネジメント検討会(案)について

- ・大規模災害等により幹線道路や鉄道が広範囲に被災し、長期間の交通ネットワーク途絶への適切な対応を行うため、道路管理者、交通管理者、関係機関と連携し、災害時の渋滞緩和に向けた交通マネジメントへの対応検討・調整を目的とする。
- ・会長は東北地方整備局 秋田河川国道事務所長とし、被災地域、被災状況に応じて、湯沢河川国道事務所長又は能代河川国道事務所長へ変更することができるものとする。
- ・検討会は検討会委員又は自治体からの要請により、会長の判断によって開催するものとする。

災害時交通マネジメント検討会の設置

【想定事象】

- 大規模災害発生(道路や鉄道等が広範囲に被災)
- 特別警報発令時
- 長期間にわたる通行止めが発生し、交通環境が寸断された場合
- 社会的な影響大(復旧に伴う交通変化、交通量変化)

【設置】

- 会長は東北地方整備局 秋田河川国道事務所長とし、被災地域、被災状況に応じて湯沢河川国道事務所長、能代河川国道事務所長へ変更できるものとする。
- 検討会は検討会委員又は自治体からの要請により、会長の判断によって開催するものとする。

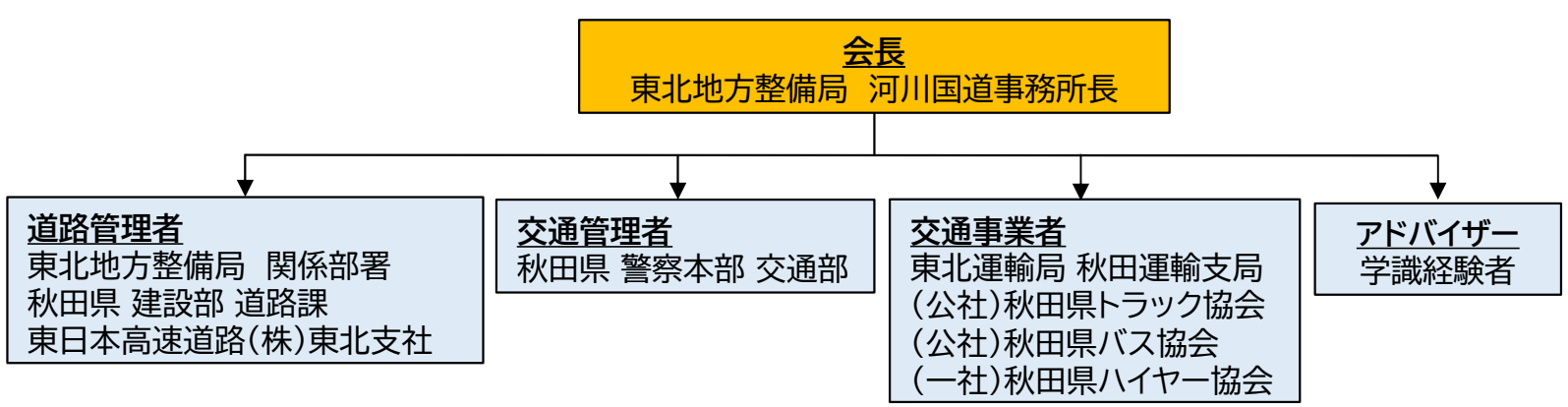
検討会での取組(案)

【災害時】交通マネジメント(施策案)

- ・出控えに関するお願いの記者発表
- ・見える化マップ作成・公開
- ・ルールにとらわれない対応の実施

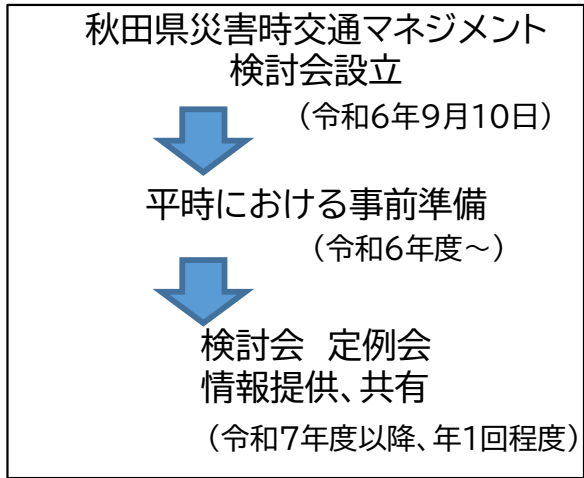
※その他、提案あった施策内容について事務局より関係部局を交えた打ち合わせなどにより実行可否及び進め方を整理

組織構成



※状況に応じて、市町村や関係機関も検討会に参加するものとする

今後の進め方(案)



秋田県災害時交通マネジメント検討会

設立趣旨

近年、激甚化・頻発化する地震や豪雨災害等により、交通ネットワークが甚大な被害を受けた場合、被災地域の経済・産業活動、日常生活に大きな影響を及ぼす恐れがある。

こうした状況に備え、発災後速やかに関係機関の協働体制を構築し、情報の共有や、ハード・ソフト両面における交通マネジメント施策及び交通需要マネジメント施策を検討、調整するため「秋田県災害時交通マネジメント検討会」を設立するものである。

秋田県災害時交通マネジメント検討会

規約（案）

（名称）

第1条 本会は、「秋田県災害時交通マネジメント検討会（以下、「検討会」という。）」と称する。

（目的）

第2条 検討会は、大規模災害などにより幹線道路や鉄道が広範囲に被災し、長期間の交通ネットワーク途絶の恐れがある場合に起こる幹線道路等の渋滞緩和を図るため、交通マネジメントおよび交通需要マネジメントからなる包括的な施策の検討・調整等を行うことを目的とする。

（所掌事務）

第3条 検討会は次の事項について、検討及び調整、検証を行う。

- 1) 交通マネジメント施策の検討
- 2) 交通マネジメント施策の実施に係る関係機関協議との調整
- 3) 交通マネジメント施策の実施結果の検証
- 4) その他、必要な事項

（組織）

第4条 本検討会は、別紙に掲げる委員等により構成する。

また、必要に応じ、市町村、公共交通事業者等の関係者の出席を求めることができるものとする。

（会長）

第5条 検討会には会長を置く。

- 1) 会長は、東北地方整備局 秋田河川国道事務所長とする。
- 2) 会長は検討会を統括、招集する。
- 3) 会長は被災地域、被災状況に応じて、湯沢河川国道事務所長又は能代河川国道事務所長へ変更することができるものとする。

（事務局）

第6条 検討会の運営に関わる事務を行わせるため、事務局を置く。

事務局は東北地方整備局 道路部 道路計画第二課、秋田河川国道事務所 調査課、湯沢河川国道事務所 調査課、能代河川国道事務所 調査課に置く。

(開催)

第7条 検討会は、検討会委員又は自治体からの要請により会長の判断により開催するものとする。

(その他)

第8条 この規約に定めのない事項、疑義が生じた場合は検討会の承認を得て定めるものとする。

附則 この規約は、令和〇年〇月〇日から施行する。

秋田県災害時交通マネジメント検討会
構成員（案）

【委員】

| 機関名 | 役職 |
|----------------|--------------|
| 東北地方整備局 | 秋田河川国道事務所長 |
| 東北地方整備局 | 湯沢河川国道事務所長 |
| 東北地方整備局 | 能代河川国道事務所長 |
| 東北地方整備局 | 道路部 道路計画第一課長 |
| 東北地方整備局 | 道路部 道路計画第二課長 |
| 東北地方整備局 | 道路部 道路管理課長 |
| 秋田県 建設部 道路課 | 道路課長 |
| 東日本高速道路（株）東北支社 | 管理事業部 調査役 |
| 東日本高速道路（株）東北支社 | 管理事業部 交通管理課長 |
| 東日本高速道路（株）東北支社 | 管理事業部 交通技術課長 |
| 秋田県警察本部交通部 | 交通規制課長 |
| 東北運輸局 秋田運輸支局 | 主席運輸企画専門官 |
| （公社）秋田県バス協会 | 専務理事 |
| （公社）秋田県トラック協会 | 専務理事 |
| （一社）秋田県ハイヤー協会 | 専務理事 |

【アドバイザー】

| 機関名 | 役職 |
|------------|----|
| 秋田大学 | |
| 秋田工業高等専門学校 | |

必要に応じて、上記以外の関係機関に要請し出席を求める場合もある。

各地域における災害時交通マネジメント検討会の設立事例

【資料2】

- ・平成30年7月豪雨で設立した「広島・呉・東広島都市圏災害時交通マネジメント検討会」を契機に、各地域で災害時交通マネジメント検討会が設立。
- ・直近では、令和6年1月に発生した能登半島地震においても災害時交通マネジメント検討会が設立。
- ・東北地方では、【宮城県】災害時交通マネジメント検討会が設立されている。

○各地域における災害時交通マネジメント検討会設立事例(一部)

| 発災時期 | 設立時期 | 設立地域 | 検討会 | 開催回数 | 設立理由 |
|----------|------------------------|-------------------|--|----------|--------------|
| H30年7月5日 | H30年7月12日 H30年8月23日 | 広島県 | 広島県災害渋滞対策協議会 広島・呉・東広島都市圏災害交通マネジメント検討会 | 7回 6回 | 豪雨災害 |
| R3年7月3日 | R3年7月6日 | 神奈川県 | 国道16号等災害時交通マネジメント検討会 | 1回 | 豪雨災害 |
| R3年7月3日 | R3年7月14日 | 静岡県 | 静岡県災害時交通マネジメント検討会 | 2回 | 土石流災害 |
| R4年8月4日 | R4年8月4日 | 福井県 | 福井県災害時交通マネジメント検討会 | 3回 | 豪雨災害 |
| R5年7月10日 | R5年7月11日 | 福岡県 佐賀県 大分県 | 福岡県・佐賀県・大分県合同災害時交通マネジメント検討会 | 1回 | 豪雨災害 |
| R5年9月5日 | R5年9月8日 | 兵庫県 | 山陽道トンネル火災事故に対する交通マネジメント検討会 | 4回 | 山陽道トンネル内火災事故 |
| R5年12月5日 | R5年12月13日 | 和歌山県 | 京奈和道紀の川IC通行止めに係る交通マネジメント検討会 | 2回 | 路面変状 |
| R6年1月1日 | R6年1月12日 | 石川県 | 石川県災害時交通マネジメント会議 | 2回 | 能登半島地震 |
| | R6年3月13日 | 宮城県 | 宮城県災害時交通マネジメント検討会 | 1回 | 体制の構築 |

※令和6年9月10日現在

広島・呉・東広島都市圏災害交通マネジメント検討会

■交通ネットワークの被災状況

1. 災害時交通マネジメントの背景

交通ネットワークの被災状況

- 都市圏の広範囲で大規模な土砂災害が発生し、交通ネットワークに甚大な被害が発生。

山陽自動車道



JR山陽本線



国道2号



JR呉線



広島・呉・東広島都市圏災害交通マネジメント検討会

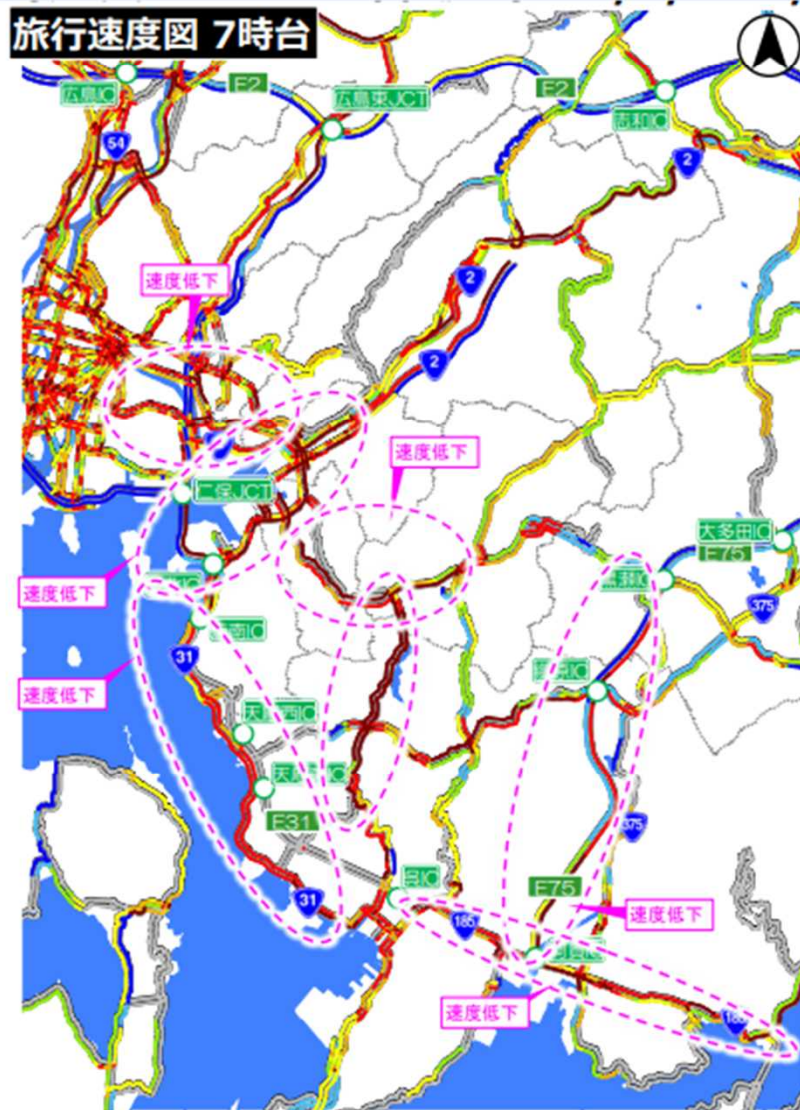
■ 豪雨災害直後の渋滞状況

1. 災害時交通マネジメントの背景

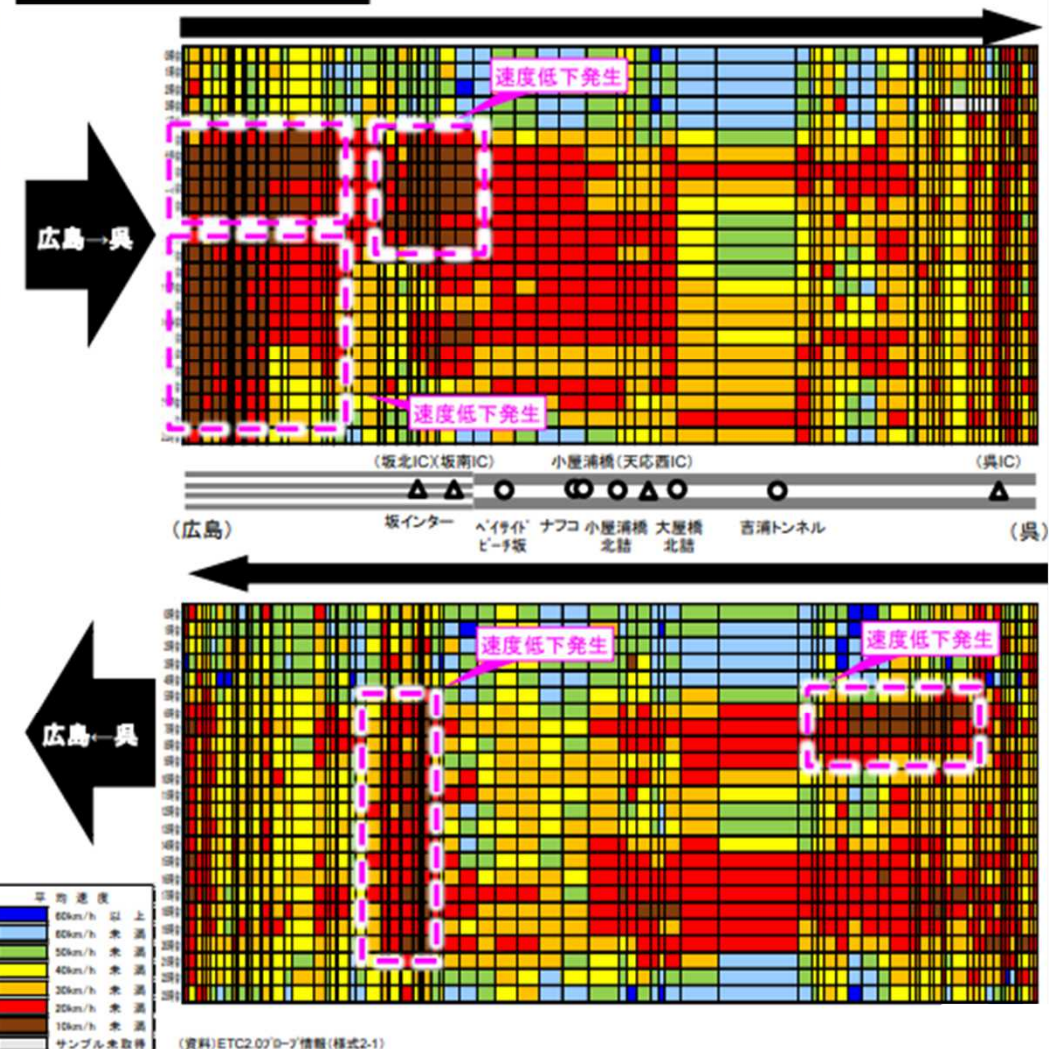
豪雨災害直後の渋滞状況(H30/7/9~7/20)

- 通行止めを解除した道路に交通が集中。広島市~呉市間では最大で3.5時間を超える大渋滞が発生。
- 住民の日常生活や沿線の経済活動等に大きな影響を及ぼす事態となったため、経済界・学識経験者・交通事業者・行政等が一体となって交通マネジメントを実施することとなった。

旅行速度図 7時台



モザイク図 国道31号



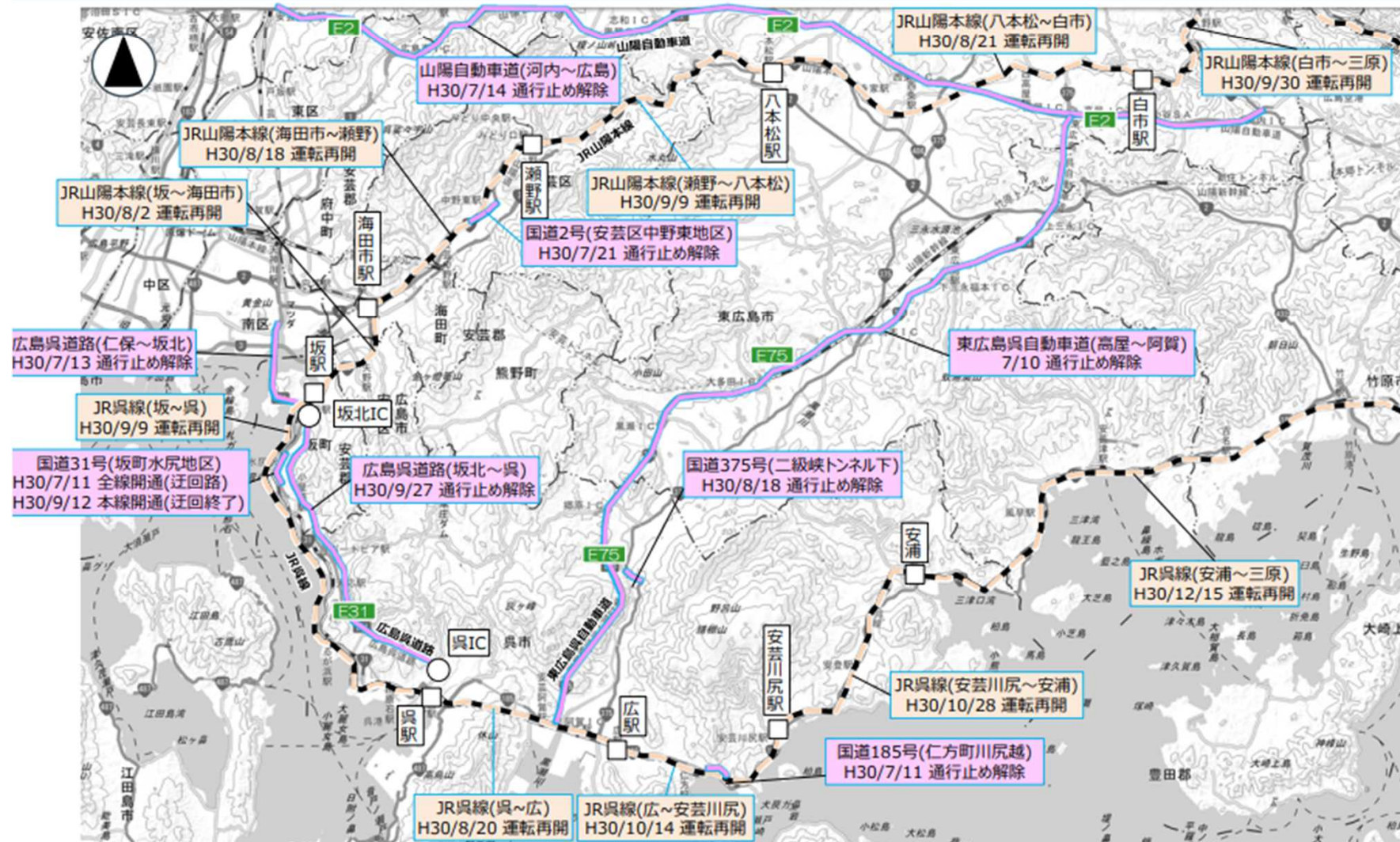
広島・呉・東広島都市圏災害交通マネジメント検討会

■ 豪雨災害時の取組み経緯

交通ネットワークの復旧状況

2. 平成30年7月豪雨災害時の取組み

- 関係者の昼夜を問わない懸命の対応により、甚大な被害を受けた道路網・鉄道網が徐々に復旧。
- しかしながら、甚大な被害となった広島呉道路ならびにJR呉線は2ヶ月以上にわたって通行止め・運休が続いた。



出典：国土交通省調べ（広島県、呉市、JR西日本 記者発表）

広島・呉・東広島都市圏災害交通マネジメント検討会

■ 関係者連携の組織の立ち上げ

2. 平成30年7月豪雨災害時の取組み

関係者連携の組織の立ち上げ

- 大渋滞による住民の日常生活や都市圏の経済活動への影響を最小限に留めるため、経済界・学識経験者・交通事業者・行政等が連携した組織を立ち上げ、ハード・ソフトの各種対策を検討・実施。

広島県災害時渋滞対策協議会

■ 目的

平成30年7月豪雨災害による道路の通行止め状況や渋滞状況、迂回路状況について、道路管理者・警察・自治体・交通事業者等が情報を共有し、渋滞緩和や交通量抑制のためのハード・ソフト対策等の検討を行うために設置。

■ 構成メンバー

国土交通省中国地方整備局 道路部道路計画課長（会長）
 国土交通省中国地方整備局 道路部地域道路課長
 国土交通省中国地方整備局 道路部道路管理課長
 国土交通省中国地方整備局 広島国道事務所副所長
 広島県 土木建築局 道路企画課長
 広島県 地域政策局 地域力創造課長
 広島県警察本部 交通部 交通規制課長
 中国管区警察局 広域調整第二課長、高速道路管理官
 広島市 道路交通局 道路部 道路計画課長
 呉市 理事
 西日本高速道路株式会社中国支社総務企画部 企画調整課長
 広島高速道路公社 企画調査部 企画調査課長
 広島県バス協会 事務局長
 西日本旅客鉄道株式会社広島支社 副支社長
 広島電鉄株式会社 バス事業本部長
 日本道路交通情報センター 大阪事務所 次長

■ 開催状況（H30）

- 第1回（7/12開催）
- 第2回（7/16開催）
- 第3回（7/17開催）
- 第4回（7/18開催）
- 第5回（7/20開催）
- 第6回（7/24開催）
- 第7回（8/1開催）

■ 協議会写真



(H30.7.17 第3回)

広島・呉・東広島都市圏災害時交通マネジメント検討会

■ 目的

「広島県災害時渋滞対策協議会」でのソフト・ハードの渋滞対策の検討・実施の延長として、長期的視座に立った都市圏の交通マネジメントを推進するため、広島・呉・東広島都市圏の経済界・学識経験者・交通事業者・行政等により渋滞対策を検討・実施。

■ 構成メンバー

広島大学大学院国際協力研究科 藤原教授（会長）
 呉工業高等専門学校 神田教授
 広島大学大学院工学研究科 塚井准教授
 広島大学大学院国際協力研究科 力石准教授
 中国経済連合会 部長
 広島商工会議所産業・地域振興部 地域振興チームリーダー
 呉商工会議所 振興部長
 広島県旅客船協会 専務理事
 広島県バス協会 事務局長
 西日本旅客鉄道株式会社広島支社 企画課長
 広島電鉄株式会社バス事業本部バス企画部業務課長
 中国経済産業局産業部 流通・サービス産業課長
 中国運輸局交通政策部 次長
 中国地方整備局 道路部長
 中国地方整備局広島国道事務所 副所長
 広島県警察本部交通部 交通規制課長
 広島県教育委員会 高校教育指導課長
 広島県地域政策局 地域力創造課長
 広島県土木建築局 道路企画課長
 広島市道路交通局都市交通部
 公共交通計画担当課長
 広島市道路交通局 道路計画課長
 呉市企画部 企画課長
 呉市都市部 交通政策課長
 東広島市政策企画部 政策推進課長
 東広島市建設部 建設管理課長
 西日本高速道路株式会社中国支社総務企画部 企画調整課長
 広島県道路公社 道路部長
 広島高速道路公社企画調査部 企画調査課長

■ 開催状況

- 第1回（H30 8/23開催）
- 第2回（H30 9/27開催）
- 第3回（H30 12/6開催）
- 第4回（H31 3/26開催）
- 第5回（R元 6/5開催）
- 第6回（R元 12/16開催）

■ 検討会写真



(H30.9.27 第2回)

広島・呉・東広島都市圏災害交通マネジメント検討会

■ 各種渋滞対策の実施

2. 平成30年7月豪雨災害時の取組み

広島市～呉市間の交通対策

- 広島県災害時渋滞対策協議会及び広島・呉・東広島都市圏災害時交通マネジメント検討会で打ち出した渋滞対策をスピード感をもって着実に実施。

■ 広島市～呉市間の交通対策



7/18(水)広島呉道路のバス運行を終日双方向に拡充
7/21(土)JR呉線沿線で代行バスの運行を開始
7/23(月)JR芸備線及びJR福塩線沿線で代行バスの運行を開始
7/25(水)JR呉線沿線で代行バスの運行を拡充
7/30(月)災害時緊急輸送船を運航
8/2(木)広島呉道路(天応西～呉など)通勤バスの運行開始・JR坂駅～JR海田市駅間運転再開
8/6(月)JR福塩線(上下駅～府中)代行バス・災害時緊急輸送船運行開始
8/7(火)災害時緊急輸送船運行開始
8/20(月)JR呉線代行バス(呉・坂間の各駅停車便)で
「災害時バス一情報提供システム」の試行運転開始

7/18(水)国道31号 坂IC入口交差点ほか5箇所の右折滞留車等の対応
7/26(木)広島呉道路坂北IC本線料金所バス専用レーン設置
7/29(日)国道185 先小倉交差点の右折滞留車等の対応 など
7/30(月)国道185号(先小倉交差点～JR広駅)迂回路誘導看板設置
8/9(木)国道31号(JR坂駅南→水尻)バス専用レーン設置
8/13(月)国道185号(休山トンネル)都市間バス並行区間通行

広島・呉・東広島都市圏災害交通マネジメント検討会

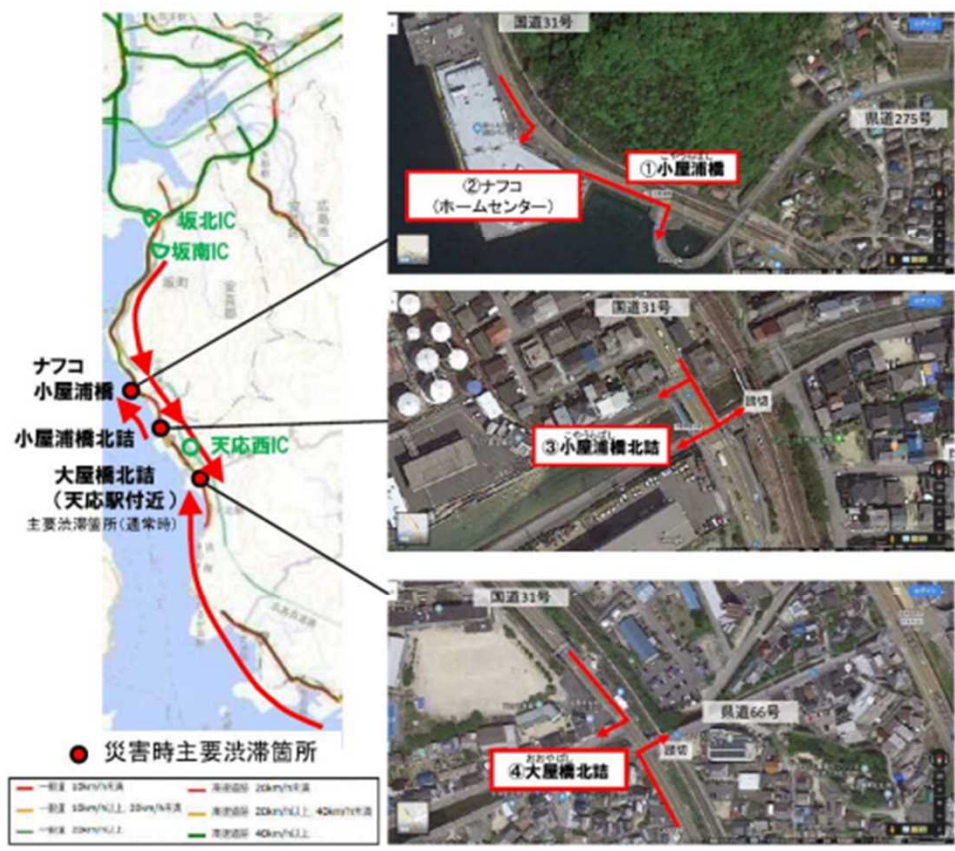
■各種渋滞対策の実施

2. 平成30年7月豪雨災害時の取組み

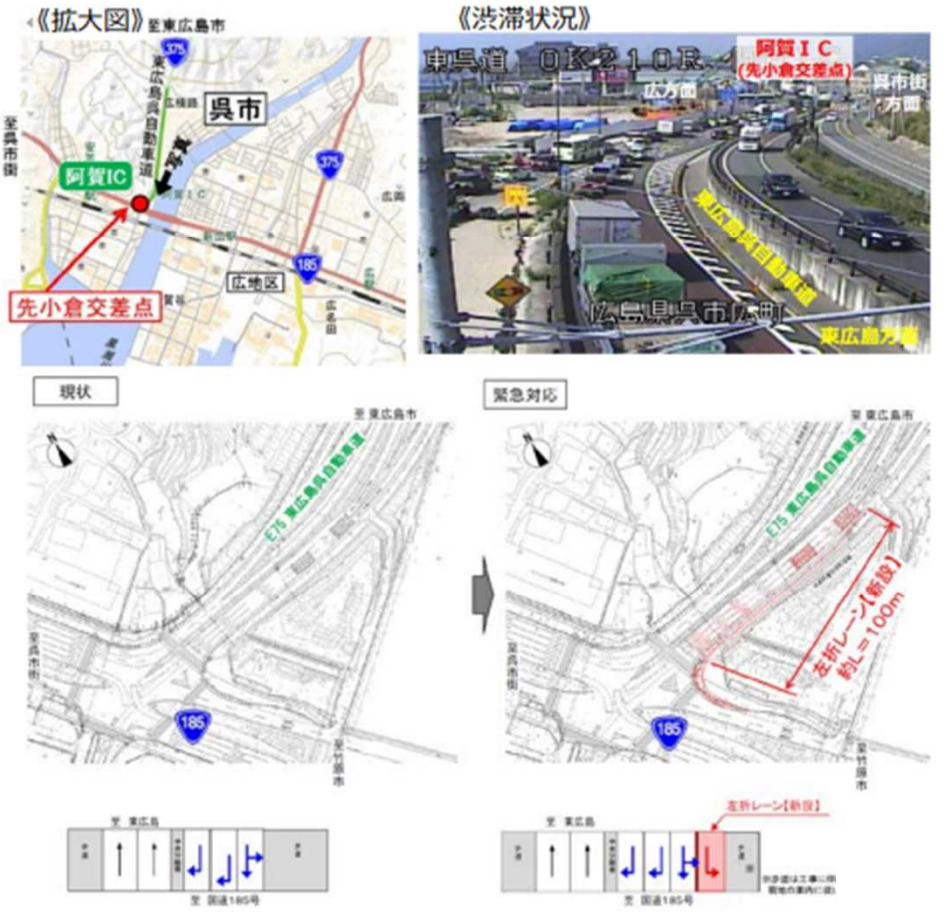
【ハード対策】緊急交差点改良の実施

- 国道31号の主要渋滞箇所において、緊急交差点改良を4箇所実施(H30/7/17~)。
 - ①小屋浦橋 : 右折レーンの延伸(30m→120m)
 - ②ナフコ周辺 : 右折レーンの設置(35m)
 - ③小屋浦橋北詰 : 停車禁止帯の設置
 - ④大屋橋北詰 : 停車禁止帯の設置
- また、東広島呉自動車道 阿賀IC出口において、緊急対策として左折レーンを新設(H30/7/28~)。

国道31号 災害時主要渋滞対策箇所



東広島呉自動車道 阿賀IC左折レーンの整備



広島・呉・東広島都市圏災害交通マネジメント検討会

■各種渋滞対策の実施

2. 平成30年7月豪雨災害時の取組み

【ソフト対策】広域迂回誘導の実施

- 山陽自動車道は速やかに特例を適用し、広島IC～高屋IC・JCTにおいて料金半額の措置を講じた。
- 加えて広域迂回経路を広く周知し、山陽自動車道・東広島呉自動車道経由の広域迂回ルートへの誘導を実施 (H30/7/17~)。



広島・呉・東広島都市圏災害交通マネジメント検討会

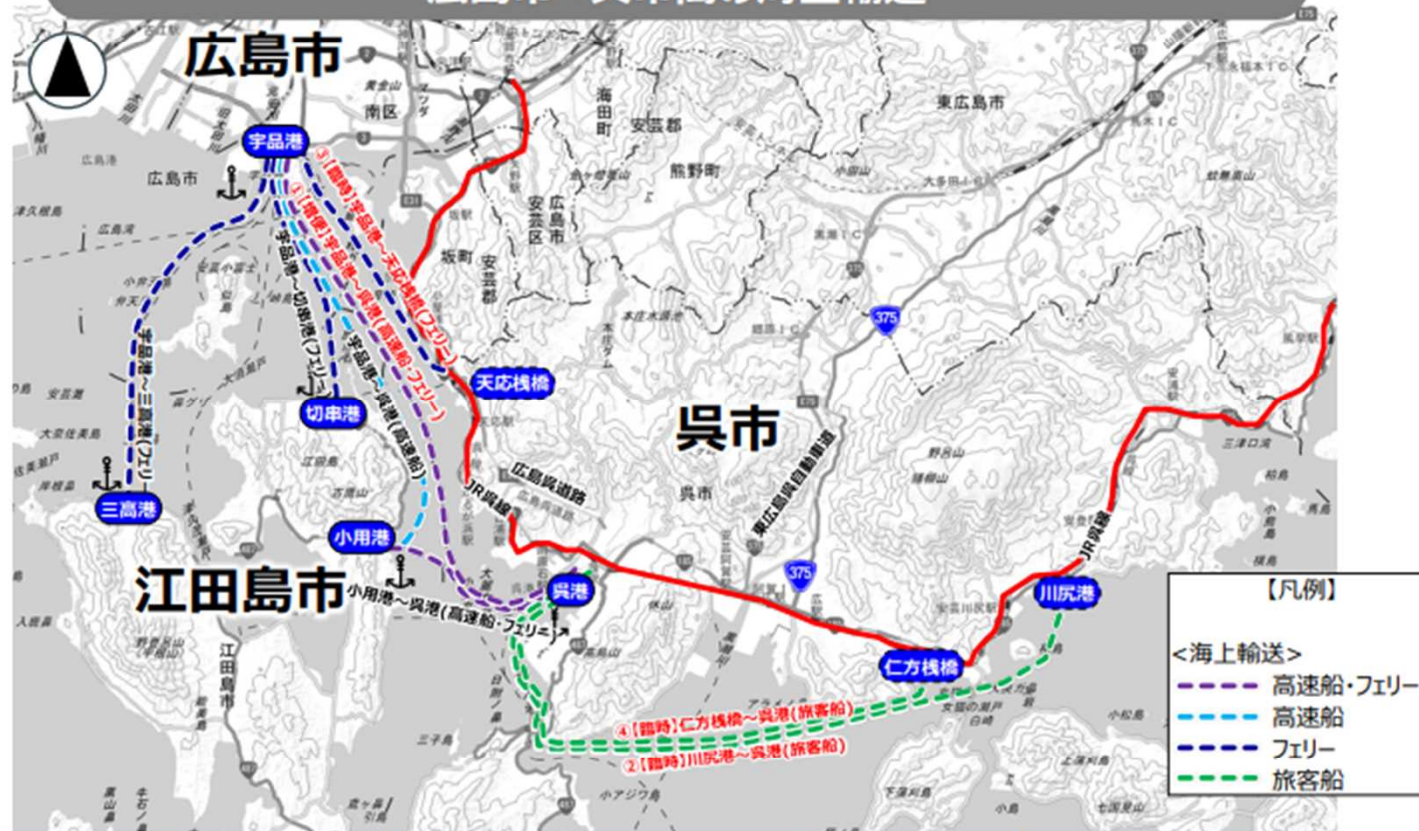
■各種渋滞対策の実施

2. 平成30年7月豪雨災害時の取組み

【公共交通との連携】海上輸送の増強

- 運休のJR呉線の代替輸送として、鉄道事業者は速やかに代行旅客船の運航を開始するとともに、旅客船事業者も臨時運航等により供給量を増強。

広島市～呉市間の海上輸送



| | 実施日 | 事業主体 | 内容 | 備考 |
|---|-----------------------|----------|-----------------------------------|-------------------------|
| ① | H30年7月17日(火)～8月1日(水) | JR西日本 | 災害時緊急輸送船の運航開始 | 宇品港～呉港 |
| ② | H30年7月30日(月)～8月22日(水) | バンカーサプライ | 災害時緊急輸送船「キャットクルーズ」を運航※あわせて連絡バスも運行 | JR安浦駅～JR安登駅～川尻港～(航路)～呉港 |
| ③ | H30年8月6日(月)～8月31日(金) | さくら海運 | 災害時緊急輸送船「さくら直行便」の運航を開始 | 天応浅橋～宇品港 |
| ④ | H30年8月7日(火)～8月22日(水) | バンカーサプライ | 災害時緊急輸送船「キャットクルーズ2」の運航を開始 | 仁方浅橋～(航路)～呉港 |

広島・呉・東広島都市圏災害交通マネジメント検討会

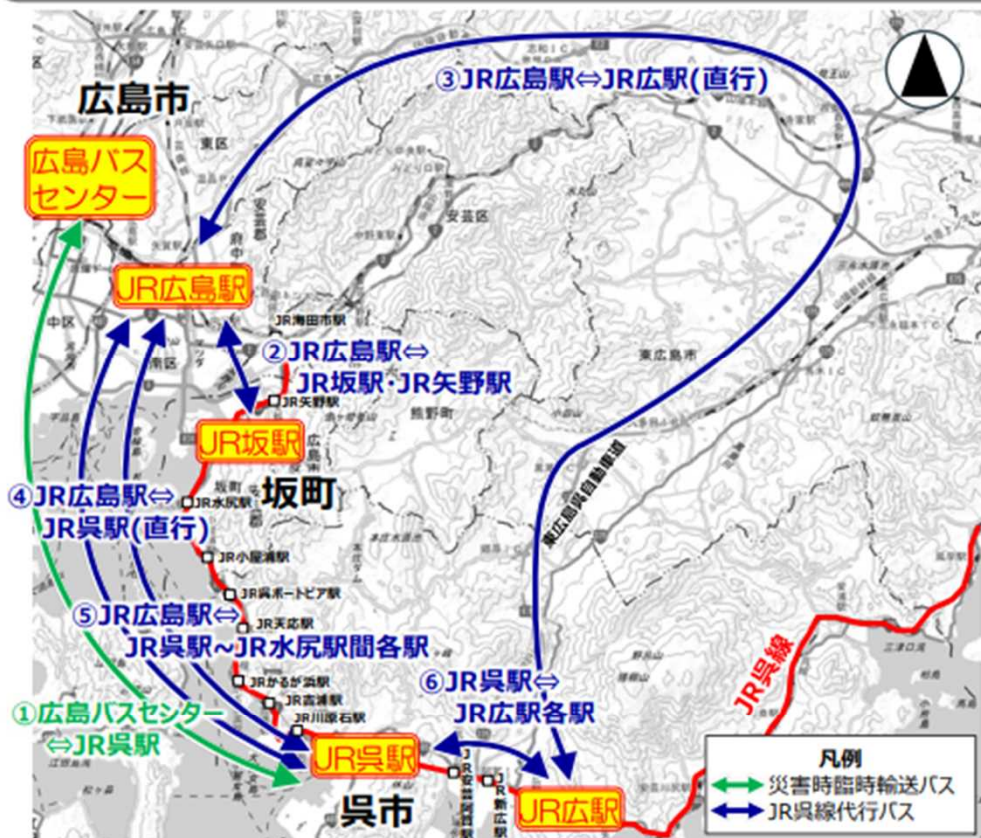
■各種渋滞対策の実施

【公共交通との連携】バス輸送の増強

- 運休のJR呉線の代替輸送として、鉄道事業者は速やかに代行バスの運行を開始するとともに、バス事業者も増便等により供給量を増強。

2. 平成30年7月豪雨災害時の取組み

JR呉線代行バス・災害時臨時輸送バス



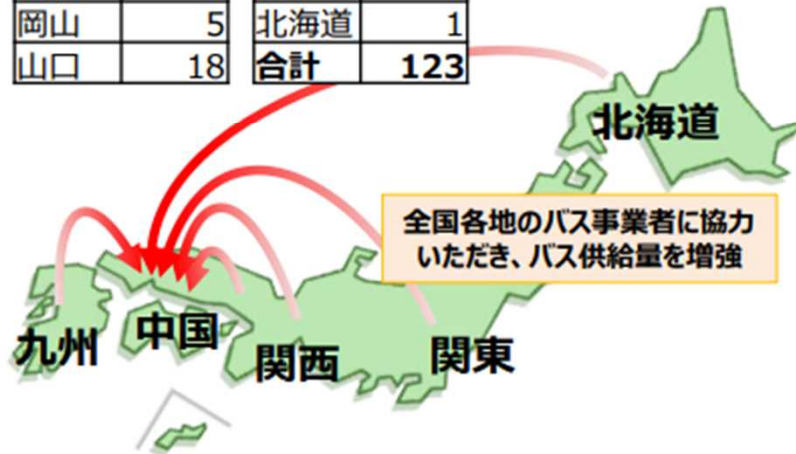
| 実施日 | 事業主体 | 運行ルート |
|-------------------------|----------------------|--------------------|
| ① H30年7月17日(火)~9月27日(水) | 広島電鉄(株) 中国JRバス(株) | 広島バスセンター⇔JR呉駅 |
| ② H30年7月21日(土)~8月1日(水) | 西日本旅客鉄道(株) | JR広島駅⇔JR坂駅・JR矢野駅 |
| ③ H30年7月21日(土)~8月19日(日) | 西日本旅客鉄道(株) | JR広島駅⇔JR広島(直行) |
| ④ H30年7月21日(土)~9月8日(土) | 西日本旅客鉄道(株) | JR広島駅⇔JR呉駅(直行) |
| ⑤ H30年7月21日(土)~9月8日(土) | 西日本旅客鉄道(株) | JR広島駅⇔JR水尻駅~JR呉駅各駅 |
| ⑥ H30年7月25日(土)~8月19日(日) | 西日本旅客鉄道(株) | JR呉駅⇔JR広島(各駅) |

全国各地からのバスの集結

協力いただいたバス事業者数

(地域別)

| | | | |
|----|----|-----|-----|
| 広島 | 51 | 関西 | 33 |
| 鳥取 | 3 | 九州 | 4 |
| 島根 | 7 | 関東 | 1 |
| 岡山 | 5 | 北海道 | 1 |
| 山口 | 18 | 合計 | 123 |



京都府から協力いただいたバス



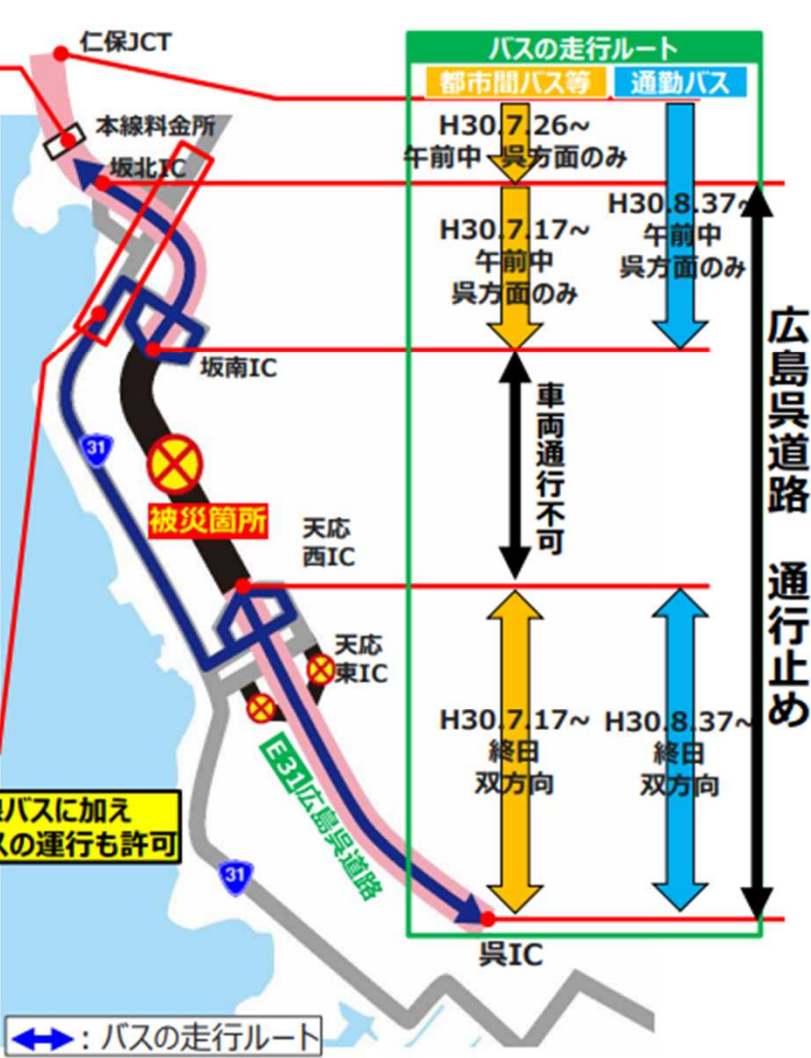
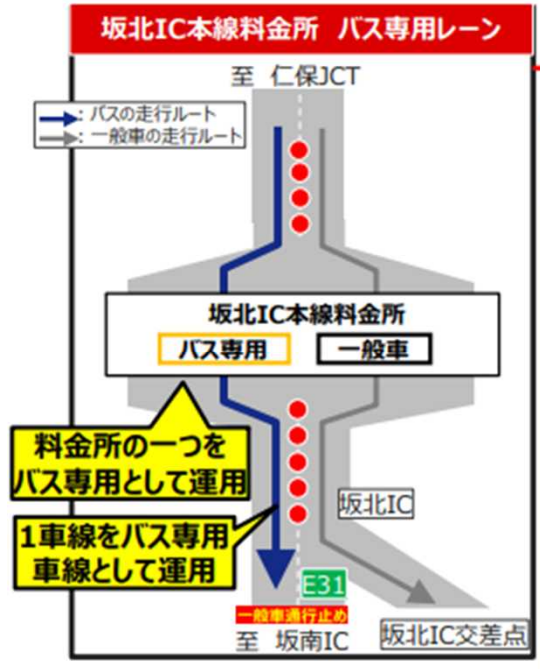
広島・呉・東広島都市圏災害交通マネジメント検討会

■各種渋滞対策の実施

2. 平成30年7月豪雨災害時の取組み

【公共交通との連携】災害時BRTの導入 ※BRT : Bus Rapid Transit (バス高速輸送システム)

●広島呉道路の通行止め区間の一部(坂北IC～坂南IC、天応西IC～呉IC)を活用し、広島と呉を結ぶ臨時輸送バス等を通行可能とする運用をH30/7/17より開始。その後も、坂北ICの本線料金所にバス専用レーン設置(H30/7/26)、通勤バスへの対象拡大(H30/8/3)、国道31号の坂町区間(呉方面)にバス専用レーンを設置(H30/8/9)するなど、渋滞緩和と定時性確保に向けた取組みを実施。



- 通勤バスへの対象拡大**
- 通勤バスの条件
- ①代行バス等の運行時間と始業終業が間に合わない、バス停から勤務地が遠いなど、代行バス等の利用を推奨できない環境であること。
 - ②企業側でマイクロバス(乗車定員11名以上)を含むバスを用意できること。
 - ③企業側で乗降場の確保ができること。
 - ④運行経路、運行時間帯、車両ナンバー等について事前に申請できること。

広島・呉・東広島都市圏災害交通マネジメント検討会

■ 各種渋滞対策の実施

2. 平成30年7月豪雨災害時の取組み

【住民への情報提供】公共交通情報の提供

- 災害時の臨時ダイヤにも対応した公共交通に関する情報を包括的に情報提供し、人々の移動をサポートする複合的な交通情報プロジェクト(d-TRIP: disaster- TRansit Information Project)を災害時交通情報提供研究会が中心となって実施。

災害時交通情報提供研究会

■ 目的 (H30.8.17設置)
 非常時運行となっている豪雨災害発生後の公共交通の情報提供について、産官学が連携し研究・検討を実施。

■ 構成メンバー

| | |
|--------------------------------------|----------|
| 広島大学大学院 呉工業高等専門学校 東京大学 生産技術研究所 | 学 |
|--------------------------------------|----------|

公益社団法人広島県バス協会
 西日本旅客鉄道株式会社広島支社
 広島電鉄株式会社
 株式会社ヴァル研究所
 株式会社トラフィックブレイン
 株式会社バイタルリード
 株式会社ファイコム

広島県
 呉市
 国土交通省中国地方整備局
 国土交通省中国運輸局

官

① 地域公共交通情報ポータルサイト構築

- ・ 地域の公共交通情報を交通手段を超えて一元化。
- ・ 各種検索ツールの「臨時情報（お知らせ等）」を受け取る機能。



検索サービスからもリンク

Yahoo!路線情報

URL | <http://www.bus-kyo.or.jp/saigai201807>

② 路線検索サイトの臨時運行情報の迅速な反映

- ・ 検索アプリ・ページ提供サービス事業者への情報提供について、伝達方法を調整（ルール化）し、早期に反映。



臨時ダイヤの速やかに反映

③ バス運行実績情報の提供

- ・ ホームページにて、所要時間と座席満空の実績情報を提供。
- ・ 利用者の方々は時間や待ち時間が読めるようになる。
- ・ **所要時間実績と満空実績とを提供するのは全国初の試み。**

| 広島バスセンター | 呉駅前 | 所要時分 | 空席状況 | 備考 |
|----------|------|------|------|----|
| 6:15 | 7:15 | 1:00 | ○ | |
| 6:30 | 7:35 | 1:05 | ○ | |
| 6:45 | 7:52 | 1:07 | △ | |
| 7:00 | 8:04 | 1:04 | × | |
| 7:25 | 8:35 | 1:10 | ○ | |
| 7:55 | 9:08 | 1:13 | ○ | |
| 8:15 | 9:20 | 1:05 | ○ | |
| 8:30 | 9:35 | 1:05 | ○ | |
| 8:48 | 9:53 | 1:05 | ○ | |

広島電鉄クリアライン線
 所要時間や満席・空席の実績を
 情報提供

④ バス走行位置情報の提供

- ・ ポータブルGPSシステムを用いて、バスの位置情報をリアルタイム情報提供。
- ・ 朝の通勤・通学時間帯の運行便を対象に、8/20～9/7で運用。
- ・ **災害時にポータブルGPSシステムを用いて情報提供を行なった事例は全国初**



URL | https://skybrain-bus.ekispart.jp/osm_viewer/index/hiroshima
 短縮版URL | <http://bit.ly/20BudTH>

広島・呉・東広島都市圏災害交通マネジメント検討会

■各種渋滞対策の実施

2. 平成30年7月豪雨災害時の取組み

【住民への情報提供】通行規制情報の提供

- 現地調査やプローブデータの走行実績を分析し、通れるマップとして通行規制情報を道路利用者へ提供。

【国土交通省公表】広島市・呉市周辺通れるマップ



【広島県公表】主な道路の通行可能区間(エリア①)抜粋



【呉市公表】道路通行規制情報



資料)被災直後: H30.7.10国土交通省記者発表(<平成30年豪雨関連>広島市及び呉市周辺の「通れるマップ」を作成)
 現在: 国土交通省HP(災害時における通行可否の情報(通れるマップ))

広島・呉・東広島都市圏災害交通マネジメント検討会

■各種渋滞対策の実施

2. 平成30年7月豪雨災害時の取組み

【広報活動】公共交通機関の利用促進

- 災害時の国道31号の交通量抑制策として、公共交通への利用転換を促す広報チラシを作成。
- 関係者の協働のもと、ホームページ、SNSでの掲載、ラジオでの広報を実施(H30/7/21~)。

作成した広報チラシと主な広報状況

国道31号渋滞中！！
～公共交通機関の利用にご協力を～

平成30年7月豪雨の被災により、広島呉道路（クレアライン）や呉線の通行止めが続いており、並行する国道31号で激しい渋滞が発生しています。
国道31号の渋滞緩和に向け、公共交通機関の利用にご理解とご協力をお願いします。

広島市～呉市間の公共交通機関
※平成30年7月21日時点

<広島線> クレアライン線 バス
<広島線内> 高橋バス運行（広島駅～呉駅）
高橋バス特設急行線（広島駅～呉駅）
新幹線特設輸送（広島駅～東広島駅） など

広島県災害時渋滞対策協議会
（国土交通省・広島県・広島県警察本部・中国管区警察庁・広島市・呉市・NKKO西日本・広島高速道路公社・広島県バス協会・西日本・広島電鉄・日本道路交通情報センター）

資料)H30.7.26中国地方整備局記者発表(東広島呉自動車道 阿賀IC出口(先小倉交差点)において左折専用レーンの増設など交差点改良が完成します。)

【日本道路交通情報センター（JARTIC）】
▼HP

「公共交通機関のご利用」について、HP(道路交通情報Now!!)の広島県域の文字ポップ表示を23日より以下のとおりを掲載しました

▼ラジオ放送

豪雨による災害の影響で広島市と呉市間の国道31号線が渋滞しています。公共交通機関をご利用ください。
※広島県内を中心に中国管内で177回/週の放送

【中国地方整備局】▼HP

広島県災害時渋滞対策協議会

- H30.7.24 第6回広島県災害時渋滞対策協議会の結果について
- H30.7.21 国道31号渋滞中！！（公共交通機関の利用にご協力を）**
- H30.7.20 第5回広島県災害時渋滞対策協議会の結果について
- H30.7.18 第4回広島県災害時渋滞対策協議会の結果について
- H30.7.17 第3回広島県災害時渋滞対策協議会の結果について
- H30.7.16 第2回広島県災害時渋滞対策協議会の結果について
- H30.7.12 第1回広島県災害時渋滞対策協議会の結果について
- H30.7.12 広島・呉地域の渋滞対策について～「広島県災害時渋滞対策協議会」が設置します～

【広島県】▼facebook

▼Twitter

【広島高速公社】
▼掲示(広島高速1号線 温品PA)

広島・呉・東広島都市圏災害交通マネジメント検討会

■各種渋滞対策の実施

2. 平成30年7月豪雨災害時の取組み

【広報活動】公共交通機関利用・広域迂回の促進

- 災害時の国道31号の交通量抑制策として、都市間バスへの利用転換、東広島呉自動車道への広域迂回を促す広報チラシを作成。
- 関係者の協働のもと、ホームページ、SNSでの掲載、高速道路SA・PAで紙面配布を実施(H30/8/28~)。

作成した広報チラシと主な広報状況

△平成30年7月豪雨の影響により国道31号で渋滞が発生しやすくなっています。

広島市内⇨呉市内の通勤・通学は 都市間バス または 広域迂回 でアクセス!

都市間バスならマイカーより43分も早い!
広島バスセンター⇨東広島バスセンター | 東広島バスセンター⇨広島バスセンター

広島バスセンター
東広島バスセンター

70分
113分

広域迂回なら国道31号経由より55分も早い!
広島バスセンター⇨東広島バスセンター | 東広島バスセンター⇨広島バスセンター

広島バスセンター
東広島バスセンター

78分
133分

広島・呉・東広島都市圏災害時交通マネジメント検討会

△平成30年7月豪雨の影響により国道31号で渋滞が発生しやすくなっています。

呉市内⇨広島市内の通勤・通学は 都市間バス でアクセス!

都市間バスならマイカーより34分も早い!
東広島バスセンター⇨広島バスセンター | 広島バスセンター⇨東広島バスセンター

広島バスセンター
東広島バスセンター

52分
86分

広島・呉・東広島都市圏災害時交通マネジメント検討会

【広島商工会議所】

▼HP

広島市内から呉市内への通勤・通学は、都市間バスまたは広域迂回を活用しましょう!

- 広島からへの通勤・通学は都市間バスを活用しましょう!
- マイカーの場合は山陽自動車道と東広島道路を活用しましょう!

【呉市】 ▼facebook

△平成30年7月豪雨の影響により国道31号で渋滞が発生しやすくなっています。

広島市内⇨呉市内の通勤・通学は 都市間バス または 広域迂回 でアクセス!

【広島高速公社】

▼掲示(広島高速1号線 温品PA)

【広島国道事務所】

▼チラシの設置

広島・呉・東広島都市圏災害交通マネジメント検討会

■各種渋滞対策の実施

【広報活動】公共交通機関の利用促進

2. 平成30年7月豪雨災害時の取組み

- 平常時の交通量抑制対策として自家用車から公共交通利用への転換・定着を促すための広報チラシを作成。関係者の協働のもと、ホームページやSNS、駅やSAでの掲載を開始(H30/9/26~)。

作成した広報チラシと主な広報状況

平成30年7月豪雨では交通インフラが大きな被害を受けました。皆様のご理解とご協力により、順次インフラは復旧し、国道31号の渋滞も徐々に改善してきています。

自家用車・鉄道・バスの利用分担が進むことで、道路の渋滞が緩和するとともに、交通環境も改善します。

この機会に、電車・バスを上手に使ってみませんか？

● 渋滞緩和に貢献します

● 環境にもやさしい乗物です

● 時間も読めるので安心です

● 移動時間を有効に使えます

● 夜も運行しています

電車・バスを上手に使ってみませんか？

クレアライン線の所要時間
広島バスセンター(八丁堀) ←→ 呉駅前
約46分
※9月28日(金)以降のダイヤ



JR呉線の所要時間
JR 広島駅 ←→ JR 呉駅
37分~64分
36分~67分
※平日~土曜日の営業時間内、快速列車も運行しています。



クレアライン線 9月28日(金)より通常ダイヤで運行再開!

- 20分~30分間隔(ピーク時は約5~10分間隔)で運行しています。
- 通常ダイヤでは呉方面への最終便は八丁堀 23時15分発(平日)で、利便性が向上。
- 詳しい情報は広島電鉄のホームページ等でご確認のうえ、ご利用ください。

JR呉線 広島~呉・広間の全線で9月9日(日)より運転再開!

- 呉市内では、10月14日(日)に広島~安芸川尻間、11月中には安芸川尻~安芸清での運転再開を予定しております。なお、来年1月中の三原までの全区間で運転再開に向けて復旧工事に取り組んでいます。
- 一部区間で代行等を行っているため、簡定ダイヤで運行しております。詳しい情報はJR西日本のホームページ等でご確認のうえ、ご利用ください。

広島・呉・東広島都市圏災害時交通マネジメント検討会
広島大学大学院 呉工業高等専門学校 中国経済産業局 広島県工業会 広島県バス協会 広島県バス協会 広島県建設業協会 広島県建設業協会 広島県建設業協会 広島県建設業協会

資料)H30.9.26中国地方整備局記者発表(電車・バスを上手に使ってみませんか?)

【JR西日本】▼掲示



【西日本高速道路】▼チラシ(小谷SA下り)



▼チラシ(宮島SA上り)



【広島県バス協会】▼HP

▼広島県営の移動にもバス・電車を上手に使ってみませんか? (広島県都市圏災害時交通マネジメント検討会)

広島・呉・東広島都市圏の移動にもバス・電車を上手に使ってみませんか? (広島県都市圏災害時交通マネジメント検討会)

広島県営の移動にもバス・電車を上手に使ってみませんか? (広島県都市圏災害時交通マネジメント検討会)

広島県営の移動にもバス・電車を上手に使ってみませんか? (広島県都市圏災害時交通マネジメント検討会)

【中国経済産業局】▼HP

平成30年7月豪雨関連情報 (平成30年9月27日更新)

この度の豪雨災害により被害を受けた皆様へ、心からお見舞い申し上げます。被災された皆様へ迅速な支援を行うための情報をお知らせします。

- 被害情報
 - ★ 広島県営の移動にもバス・電車を上手に使ってみませんか? (平成30年9月27日更新)
 - ★ 広島県営の移動にもバス・電車を上手に使ってみませんか? (平成30年9月27日更新)
 - ★ 広島県営の移動にもバス・電車を上手に使ってみませんか? (平成30年9月27日更新)
 - ★ 広島県営の移動にもバス・電車を上手に使ってみませんか? (平成30年9月27日更新)
 - ★ 広島県営の移動にもバス・電車を上手に使ってみませんか? (平成30年9月27日更新)
 - ★ 広島県営の移動にもバス・電車を上手に使ってみませんか? (平成30年9月27日更新)

【中国運輸局】▼HP

平成30年7月豪雨関連情報

- ★ 平成30年7月豪雨 関連情報
- ★ 平成30年7月豪雨による被害状況等について
- ★ 広島県営の移動にもバス・電車を上手に使ってみませんか? (広島県都市圏災害時交通マネジメント検討会資料へリンクします)
- ★ 広島県営の移動にもバス・電車を上手に使ってみませんか? (広島県都市圏災害時交通マネジメント検討会資料へリンクします)
- ★ 自働車の抹消登録(被災者生活再建支援法の適用区域)について
- ★ 自働車の車庫証明書・住民票等の有効期間延長について
- ★ 西日本を中心とした豪雨による7月定期列車の特例措置について
- ★ 洪水・浸水被害を受けた車両のユーザーの方へ (国土交通省ホームページへリンクします)

広島・呉・東広島都市圏災害交通マネジメント検討会

■各機関保有データの分析

2. 平成30年7月豪雨災害時の取組み

各機関保有データの分析

- 各機関保有データを共有・分析し、渋滞対策のPDCAに活用。加えて、効果の検証や住民への情報提供に活用。

自動車交通量の分析

- 道路管理者ならびに警察が保有する交通量データを分析し、協議会や検討会時に関係者間で共有。分析結果を対策検討および効果検証に活用。

■分析データ(保有機関)

- トラフィックカウンターデータ(各道路管理者)
- 可搬型トラフィックカウンター(モバトラ)(国土交通省)
- 路側カメラ映像(CCTV)・現地調査からの人手観測(国土交通省)

公共交通運行実績の分析

- バス事業者の車載GPSにより災害時BRTの所要時間を計測するとともに自動車での実走調査を実施し、広島市～呉市間の所要時間を把握。関係者間での共有に加え、バス利用者へ提供し災害時BRTの利用を促進。
- また、広島市～呉市間のバスおよび旅客船の利用者数を分析、推移を把握。

■分析データ(保有機関)

- 車載GPSによる実測データ(広島電鉄株式会社)
- 自動車走行による実測データ(国土交通省)
- バス利用者数(広島電鉄株式会社)
- 旅客船・フェリー利用者数(広島県旅客船協会)

旅行速度の分析

- 呉市周辺の路線について、国土交通省保有のETC2.0プローブ情報を利用して旅行速度を分析。日々の分析結果を対策検討および効果検証に活用。

■分析データ(保有機関)

- ETC2.0プローブ情報(国土交通省)

福井県災害交通マネジメント検討会

8/5大雨 鉄道・道路の主要な被災状況

国土交通省
近畿地方整備局



北陸本線
上下線: 敦賀駅～今庄駅
【8/11より運転再開】



国道305号
上下線: 南越前町河野～南越前町鯖波
【8/9 規制解除(一部片側交互通行規制)】



国道8号
上下線: 南越前町桜橋交差点～敦賀市大比田交差点
【8/9 片側交互通行規制、8/20 規制解除】

国道365号
上下線: 南越前町鯖波～滋賀県境
【8/10 規制解除(滋賀県境は令和5年度中見込み)】



しおかぜライン
上下線: 南越前町河野～敦賀市大比田
【8/26 規制解除(一部片側交互通行規制)】



北陸自動車道
上り線: 敦賀IC～武生IC
【8/10 規制解除(8/19まで無料措置)】
下り線: 敦賀IC～今庄IC
【8/27 規制解除】



福井県災害交通マネジメント検討会



8/5大雨 国道8号 被災箇所図

①国道8号福井県南越前町大谷 法面崩落



8/ 5 9:00 全面通行止め開始
 21:30 滞留者退出完了
 8/ 6 AM 緊急車両通行可
 8/ 9 5:00 全面通行止め解除
 (一部、片側交互通行)
 8/20 0:00 片側交互通行規制解除

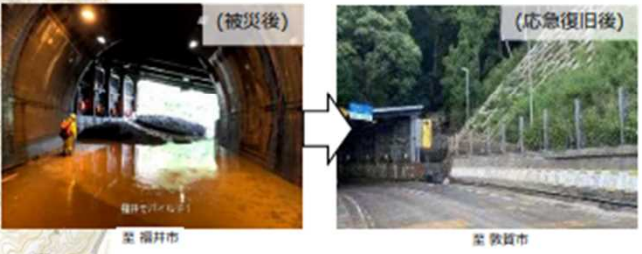


②国道8号大谷第2トンネル 土砂流入



片側交互通行 L=100m (8/9 5:00~8/20 0:00解除)

④国道8号大谷第5トンネル 土砂流入



③国道8号大谷第2トンネル~第3トンネル間 土砂流入



⑤国道8号敦賀トンネル 土砂流入



●通行止め区間
 滞留人数・車台数
 <8/5 13:00時点>
 約172人
 約118台
 ↓
 <8/5 21:30時点>
 解消

凡例

○ 災害発生箇所



至敦賀市

国道8号における主な被災状況と復旧状況

敦賀トンネル坑口付近(北側)



大谷第5トンネル坑口付近(南側)



福井県災害交通マネジメント検討会



(NEXCO中日本提供)

8/5大雨 北陸道 被災箇所図



⑤【上り】60.7KP 敦賀TN入口

8/5 13:00作業着手
8/6 12:00完了

⑥【下り】58.35KP 敦賀TN入口

8/05 14:00作業着手
8/26 15:00作業状況

⑦【上り】57.4KP 敦賀TN出口

8/5 14:00作業着手
8/9 15:00完了

④【下り】50.74KP 走行

8/5 9:00作業着手
8/5 18:00完了

①②【上り】49.7KP 走行・追越

8/5 9:30作業着手
8/5 10:30完了

③【下り】下り50.5KP 走行

8/5 16:00作業着手
8/5 19:20完了

福井県災害交通マネジメント検討会

北陸道における主な被災状況と復旧状況

国土交通省
(NEXCO中日本提供)

下り 58.35 KP



福井県災害交通マネジメント検討会

被災前後の交通状況の変遷(ピーク時間帯)

- 被災前は、国道8号(越前市塚原交差点～敦賀市余座交差点)で渋滞は発生していない。
- 北陸道や国道365号が通行止め時には、国道8号の片側交互通行規制箇所を起点とした渋滞が発生。



[速度凡例] 20km/h未満 20~30km/h 30~40km/h 40km/h以上

[規制情報凡例] 通行止 片側交互通行規制

(出典) ETC2.0プローブDRMリンク単位車両別旅行時間 速報値より集計

被災前後の交通状況の変遷(ピーク時間帯)

- 北陸道南向きの通行止めが解除された状況では、国道8号南向きで渋滞緩和。
- 国道8号の片側交互通行規制解除後は、国道8号で大きな渋滞は発生していない。



[速度凡例] 20km/h未満 20-30km/h 30-40km/h 40km/h以上

[規制情報凡例] 通行止 片側交互通行規制

(出典) ETC2.0プローブDRMリンク単位車両別旅行時間 速報値より集計

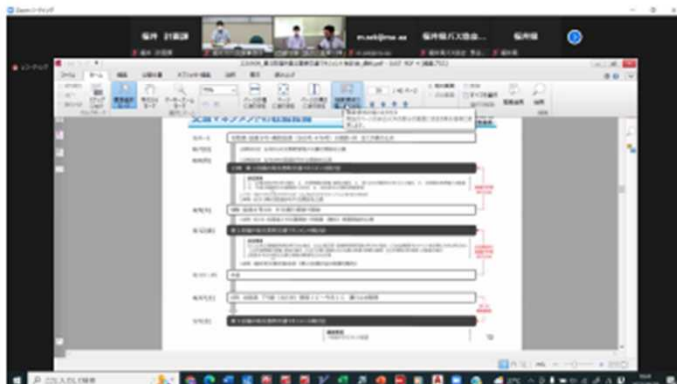
福井県災害交通マネジメント検討会

福井県災害時交通マネジメント検討会の立ち上げ



令和4年8月5日に発生した福井県内の高速道路・国道・県道の被災による交通開放後において、交通集中による大規模な交通渋滞が発生する恐れがあることから、有識者、行政、高速道路会社及び交通事業者等で構成される「福井県災害時交通マネジメント検討会」を設置し、包括的な交通マネジメントを実施

- 第1回 令和4年8月 8日 (月)
- 第2回 令和4年8月12日 (金)
- 第3回 令和4年9月 9日 (金)



福井県災害時交通マネジメント検討会 委員名簿

| | |
|---------------------------------|---------------------------------------|
| 福井大学 学術研究院工学系部門 教授 川本 義海 | 福井県 土木部 道路建設課長 |
| 福井工業大学 環境情報学部デザイン学科 教授 三寺 潤 | 福井県 土木部 道路保全課長 |
| 福井工業大学 工学部建築土木工学科 准教授 吉村 朋矩 | 福井県警察本部 交通規制課長 |
| 公益社団法人 福井県バス協会 専務理事 | 南越前町 建設整備課長 |
| 一般社団法人 福井県トラック協会 専務理事 | 越前市 建設部長 |
| 西日本旅客鉄道株式会社 金沢支社 地域共生室企画課長 | 敦賀市 建設部長 |
| 国土交通省 中部運輸局 交通政策部 交通企画課長 | 西日本高速道路株式会社 関西支社 総務企画部 企画調整課長 |
| 国土交通省 中部運輸局 福井運輸支局 首席運輸企画専門官 | 中日本高速道路株式会社 金沢支社 保全・サービス事業部 企画統括課長 |
| 国土交通省 近畿地方整備局 道路部 道路計画第一課長 | 中日本高速道路株式会社 金沢支社 敦賀保全・サービスセンター 所長 |
| 国土交通省 近畿地方整備局 道路部 道路計画第二課長 | 中日本高速道路株式会社 金沢支社 福井保全・サービスセンター 所長 |
| 国土交通省 近畿地方整備局 道路部 道路管理課長 | 日本道路交通情報センター 名古屋事務所長 |
| 国土交通省 近畿地方整備局 福井河川国道事務所長 | |

福井県災害交通マネジメント検討会



交通状況マップの作成・公表



【作成】

- ・交通状況(渋滞長など)
 - ・道路状況(通行止め・交通規制箇所など)
 - ・休憩施設の情報(道の駅・仮設トイレ)
 - ・迂回情報(代替路・鉄道・災害時BRTなど)
- などを道路利用者へ提供

【公表】

- ・定時および渋滞発生時に福井河川国道事務所の公式Twitterにて発信

【発信状況(リツイートなどによる拡散)】



▲福井県知事



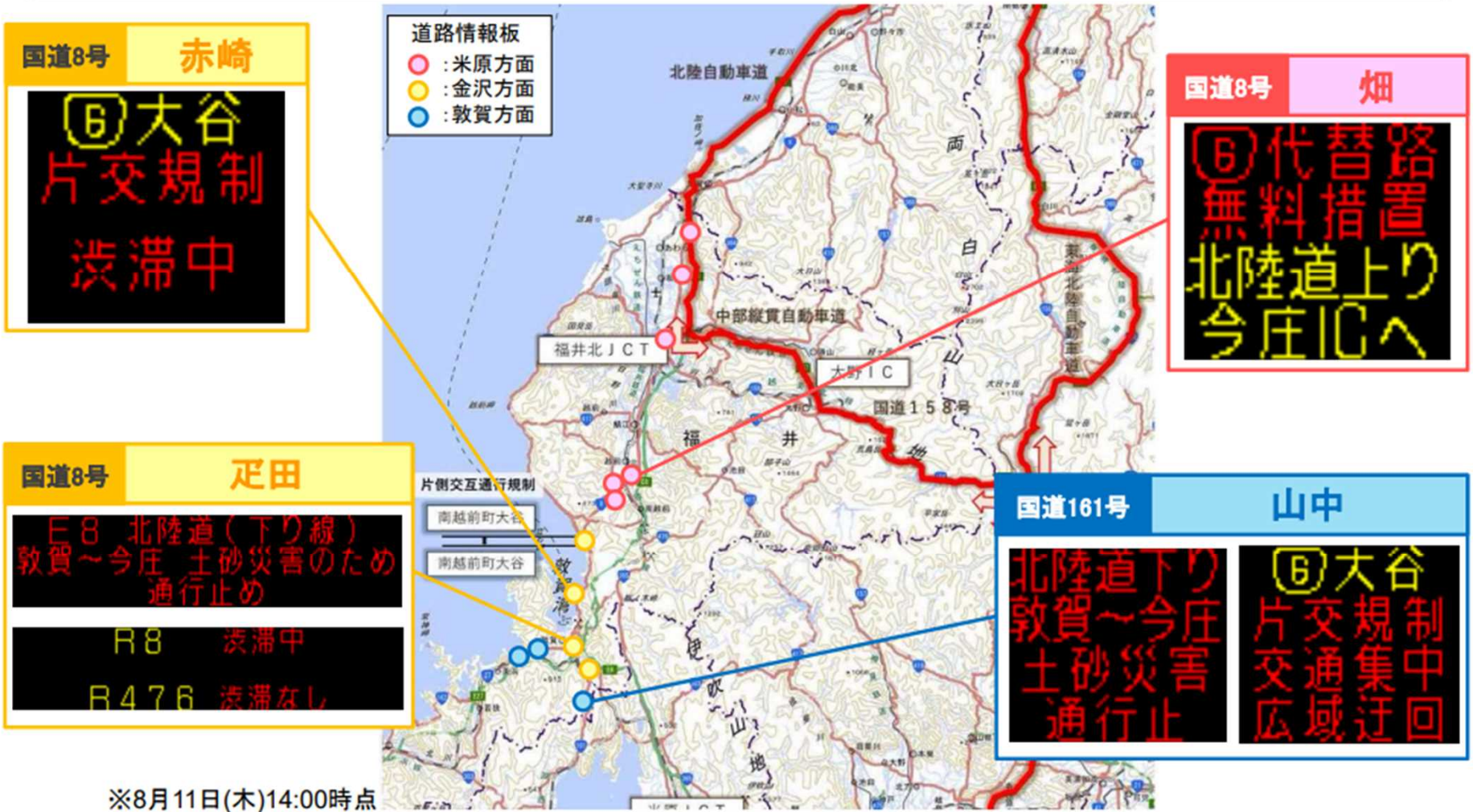
▲NEXCO中日本 金沢支社

福井県災害交通マネジメント検討会

道路管理者間で連携した道路情報板による情報提供



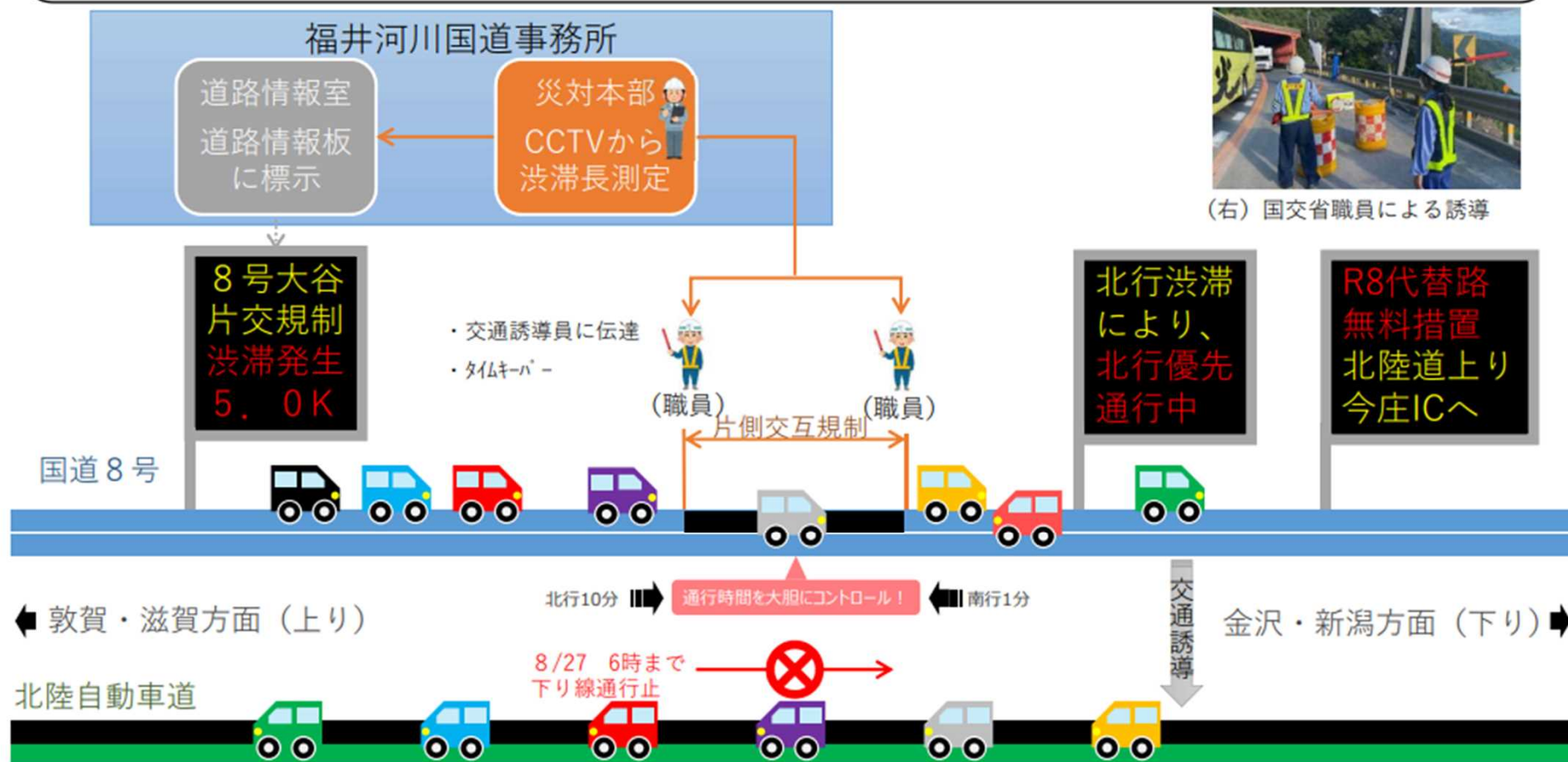
- 道路管理者間で連携し、高速道路・直轄国道・県管理道路に関する情報を一元的に表示。
 - 片側交互規制により交通渋滞の発生が予見されたため、国道8号の渋滞や北陸道、国道476号への迂回を促す情報を表示。
- 〈例〉【北向き車両対象】足田の道路情報板では国道476号への迂回を促すため「R476渋滞なし」と表示
 【南向き車両対象】畑の道路情報板(上り)では北陸道への「代替路無料措置」と表示し渋滞を抑制



福井県災害交通マネジメント検討会

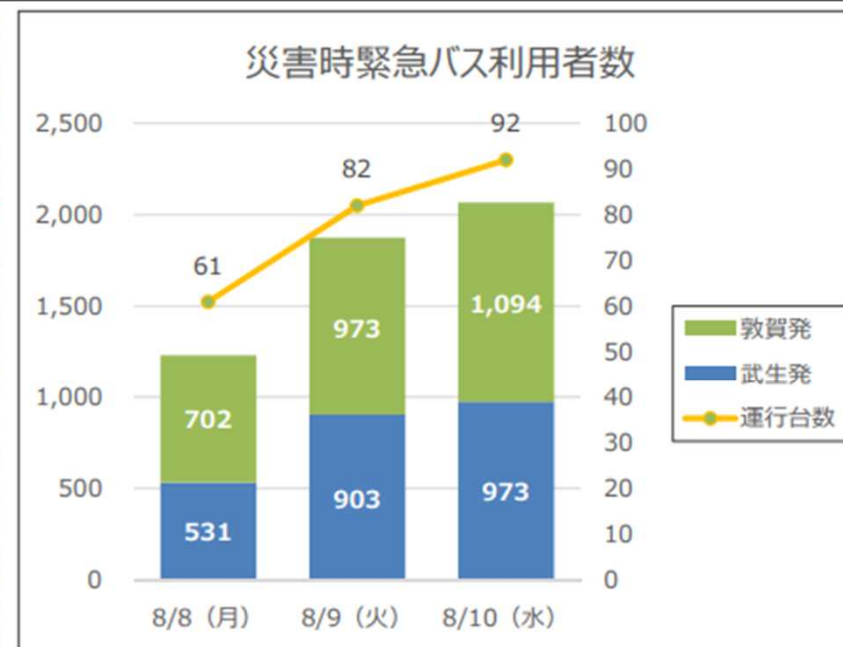
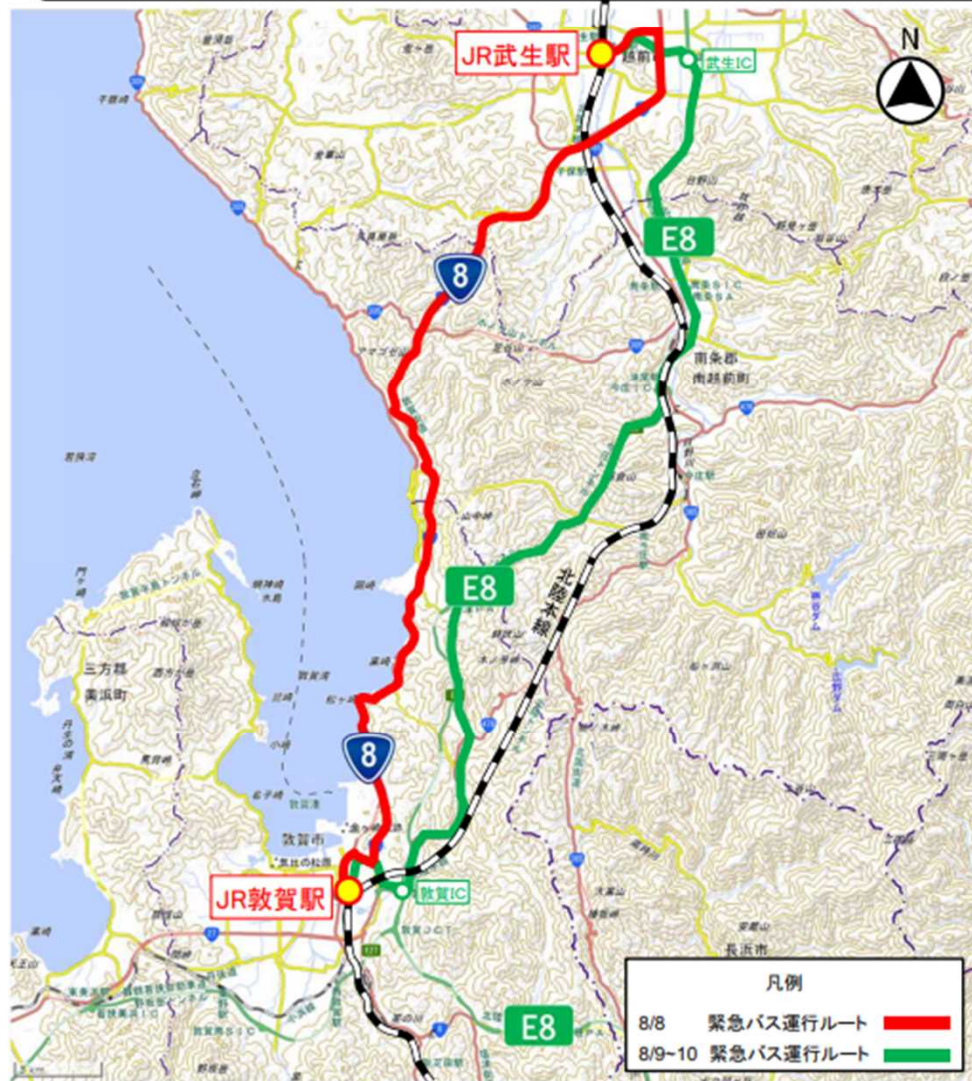
ボトルネック箇所のマネジメント(片側交互規制箇所の交通コントロール)

- 北陸道上り(敦賀・滋賀方面)は、8月10日(水)0時に通行止めを解除(一部区間代替路(無料)措置も開始)したが、下り(金沢・新潟方面)は8月27日(土)まで通行止め。
- 代替路の国道8号は8月9日(火)より片側交互通行規制をしていたが、金沢・新潟方面への交通量が通行止め中の際、敦賀・滋賀方面に比べ交通量が著しく増加。
- 南側・北側それぞれの渋滞長を計測しながら片側交互通行規制箇所で通行時間を大胆にコントロール。(最大で北行10分、南行1分)



災害時緊急バス実施経緯と利用状況

- 福井県知事からの要請を受け、国道8号通行止め中の8月8日(月)に災害時緊急バスとして、武生駅～敦賀駅間で無料バスの運行を開始。
- 北陸道の道路啓開が完了したことから、8月9日(火)より北陸道(武生IC～敦賀IC)を通行する運行ルートに変更。あわせて、運行台数も増便。



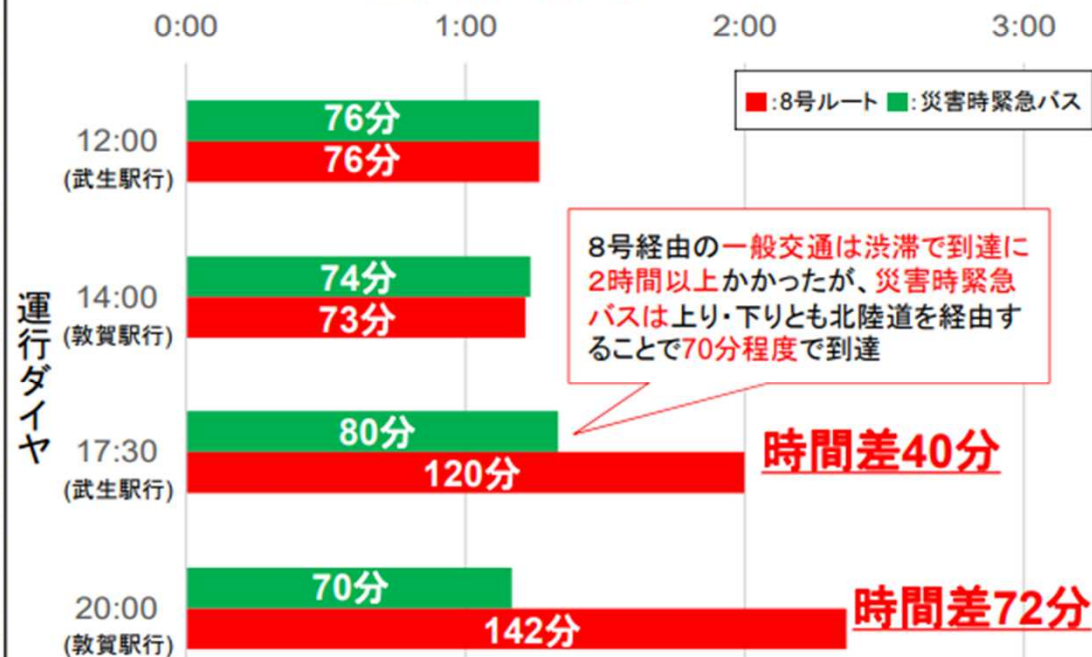
▲災害時緊急バスを運行

災害時緊急バスの効果

JR武生駅～JR敦賀駅間の
災害時緊急バスの運行実績

1. 運行期間 : 令和4年8月8日(月)～8月10日(水)
2. 運行ルート : 武生駅⇔敦賀駅、敦賀駅⇒武生駅 直通(無料)
3. 運行事業者 : 福井鉄道株式会社
4. 運行ダイヤ : 武生駅、敦賀駅から定時に出発(3日間で計235台)
5. 発着場所 : 武生駅前ロータリー ⇔ 敦賀駅前ロータリー
6. 利用者数 : 延べ5,176人

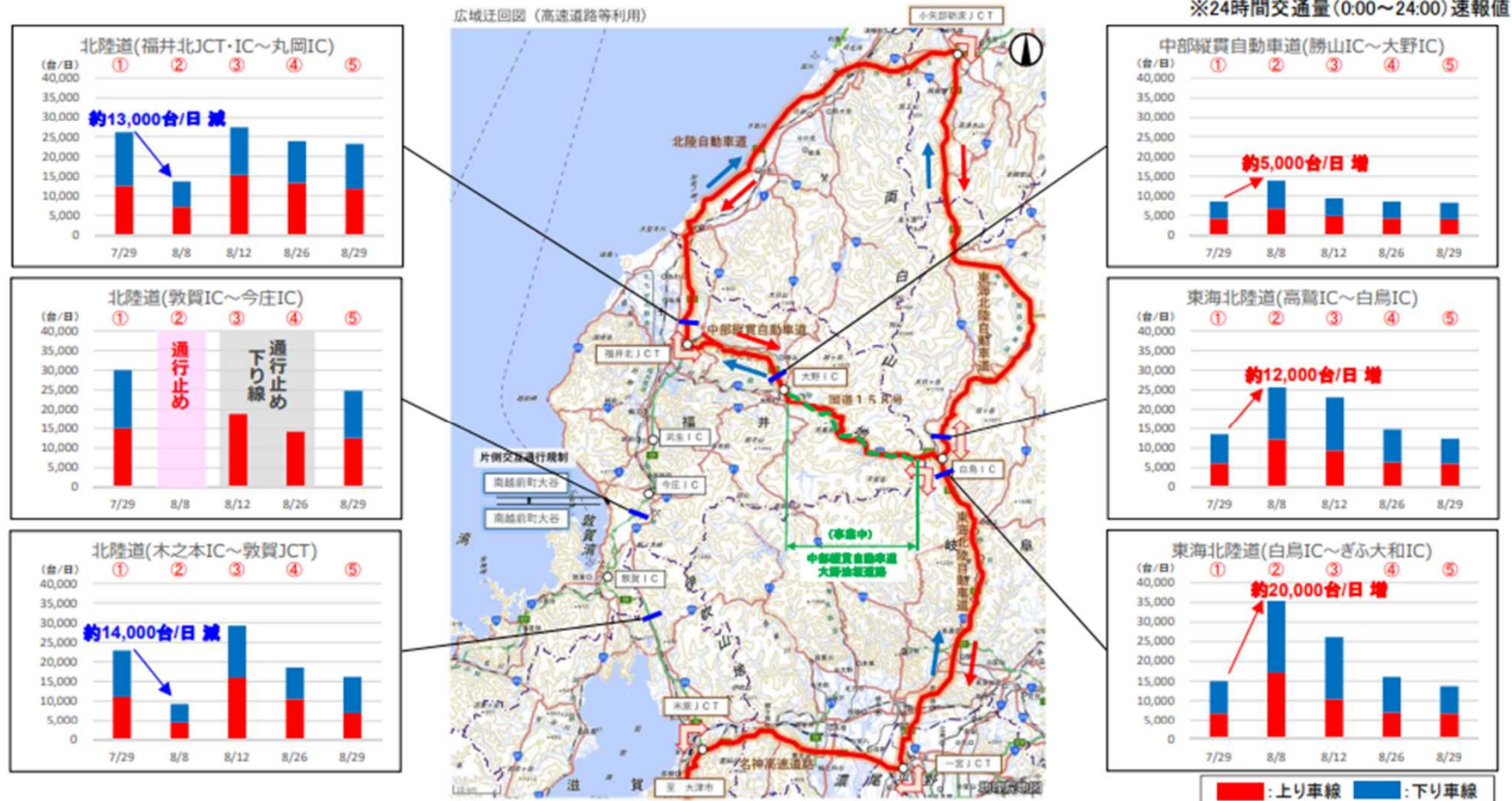
所要時間の例(8月9日)



福井県災害交通マネジメント検討会

広域迂回の交通状況

○ 広域迂回案内により約1万台/日～約2万台/日の車両が東海北陸道及び中部縦貫自動車道へ広域迂回



| 区間 | 7/29 (金) | 8/4 (木) | 8/5 (金) | 8/6 (土) | 8/7 (日) | 8/8 (月) | 8/9 (火) | 8/10 (水) | 8/11 (木) | 8/12 (金) | 8/13 (土) | 8/14 (日) | 8/15 (月) | 8/16 (火) | 8/17 (水) | 8/18 (木) | 8/19 (金) | 8/20 (土) | 8/21 (日) | 8/22 (月) | 8/23 (火) | 8/24 (水) | 8/25 (木) | 8/26 (金) | 8/27 (土) | 8/28 (日) | 8/29 (月) | 8/30 (火) | 8/31 (水) |
|--------|-----------------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|--------------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| E8 北陸道 | 上り線(南行き) 敦賀IC～武生IC | | | | | | | 8/5 4:17 通行止 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 下り線(北行き) 敦賀IC～今庄IC | | | | | | | 8/5 4:17 通行止 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | ① | | | | ② | | | | ③ | | | | | | | | | | | | | | | ④ | | ⑤ | | |

8/10 0:00 解除【北陸道 R8代替路(無料)措置】 8/20 0:00 解除

8/27 6:00 解除

福井河川国道事務所によるSNSを活用した広報



- 交通状況マップを活用しつつ、道路情報版、各機関HP・SNS等で情報を発信
- 渋滞時の利用者への配慮として休憩施設の混雑状況の発信、臨時トイレの案内強化

交通情報

国土交通省 福井河川国道事務所 @mit_fukui · 8月9日

【道路情報】
8月9日 23時00分時点の交通状況マップです。
・#敦賀市 方面 渋滞長 約8.0km
・#福井市 方面 渋滞長 約6.0km

交通集中により混雑発生！！
広域迂回をお願いします。

#国道8号 #いのちとくらしをまもる防災減災

交通状況マップ R4.8.9 23時現在

渋滞長(敦賀市方面) 約8.0km

共同交通通行案内

渋滞長(福井市方面) 約6.0km

災害時緊急バス
【伊吹生駅～所敷賀駅(無料)】
をご利用下さい。

国土交通省 福井河川国道事務所

以下表示の情報は、国土交通省の発表に基づいており、正確性を保証するものではありません。
※ 道路状況はリアルタイムで変動します。最新の情報は、国土交通省の発表をご確認ください。
※ 災害時緊急バスは、災害発生時にのみ運行します。ご利用の際は、事前に国土交通省の発表をご確認ください。

復旧状況

国土交通省 福井河川国道事務所 @mit_fukui · 8月7日

【作業状況】
現在の#敦賀トンネル橋脚倒壊口の状況です。
なお、国道8号の#高越町可～#敦賀市 間の通行止めは継続しております。
#国道8号 #通行止め #いのちとくらしをまもる防災減災

国土交通省 福井河川国道事務所 @mit_fukui

【#防災ドクターの現地診断②】
防災ドクター（高度な技術や専門的な知識を有する学識経験者）が#国道8号 被災箇所の現地診断を行っています。
現在状況を確認しています。
#いのちとくらしをまもる防災減災 #通行止め

休憩施設の混雑状況

国土交通省 福井河川国道事務所 @mit_fukui

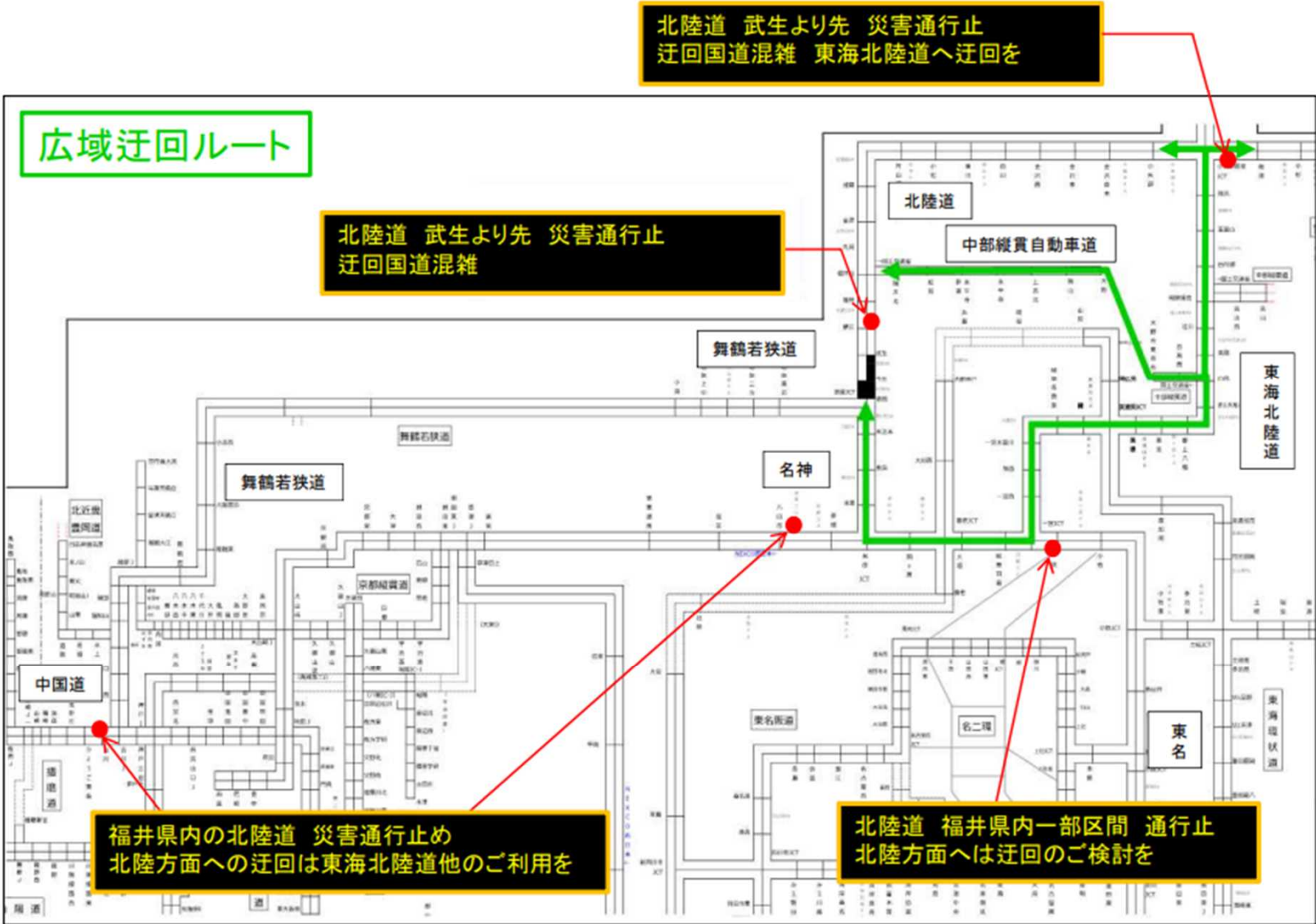
道の駅「河野」も混雑しています。
沿道に仮設トイレを設置しておりますので、そちらもご利用下さい。
仮設トイレの場所は交通状況マップをご覧ください。

午前10:48 · 2022年8月11日 · Twitter Web App

10 件のリツイート 16 件のいいね

NEXCO中日本の取組み

■ 高速道路上のジャンクション付近の情報板(広域情報板)にて広域迂回を案内



NEXCO中日本の取組み

- 米原JCT付近の高速道路上に設置した特設情報板による国道情報の提供



- 標識車による北陸道への迂回案内

北陸道 武生ICの手前の国道8号において、国道8号の渋滞情報を提供し、北陸道への迂回を案内
(北陸道無料措置期間中)



福井県災害交通マネジメント検討会



福井県の取組み(各種媒体による広報)

福井県HP

大雨の影響への対応状況
被災者向け情報
道路・交通情報
災害時緊急バスを運行します
ボランティア等

トップページからリンク

広域迂回のお知らせ

国土交通省は、大雨による被害が拡大している地域において、道路の通行止めが解除されました。また、被災者向け情報、道路・交通情報、災害時緊急バスを運行します。ボランティア等

- 平常時と同様に国道3号の利用を避けてください。
- 迂回を促すため、迂回案内看板を設置する。迂回案内看板は「災害時緊急バス」専用です。
- 迂回案内看板は、中継地点で設置されています。できる限り迂回案内看板に従ってください。
- 迂回による遅延や不便の恐れがあります。ドライバーの皆様には、ご理解とご協力をお願いします。

生活の利便性確保に向けた対応状況

- 8月10日 国道3号(福井市) 迂回案内看板設置完了
- 8月11日 国道3号(福井市) 迂回案内看板設置完了
- 8月12日 国道3号(福井市) 迂回案内看板設置完了

みち情報ネットふくい

福井県道路保全課
みち情報ネットふくい

お知らせ
国道3号、北陸自動車道(米原方面)、国道365号、476号の通行止めが解除となりました。通行止めの解除に伴って、交通が集中し渋滞が予想されるため、リンク(詳細はこちら)を確認いただき、迂回対策。また、道路規制解除を人混み対策サービスで案内を行っています。【050-3196-1291】※連絡料が発生します。広域迂回のルート、復旧見込みについては右のリンク(詳細はこちら)を確認してください。

全県通行止め30件 迂回ルート12件 迂回案内看板

福井市(上内環状線)
大野市(米山)
福井市(九九線)北(北)

福井県防災ネット

福井県防災ネット

広域迂回ルート図

8月10日 12:00現在の状況

広域迂回ルート

迂回案内看板設置完了

迂回案内看板設置完了

迂回案内看板設置完了

8月4~6日の大雨による道路の復旧見込み(福井県越前市~敦賀市間)

8月10日 12:00現在の状況

復旧見込み

迂回案内看板設置完了

迂回案内看板設置完了

迂回案内看板設置完了

福井県公式Facebook「ほやほやふくい」

福井県広報広聴課Twitter

ほやほやふくい (福井県広報広聴課)

8月10日 12:00現在の状況

迂回案内看板設置完了

迂回案内看板設置完了

迂回案内看板設置完了

福井県HP

大雨の影響への対応状況

被災された方へ

国道3号の規制解除に伴う迂回対策のお知らせ

道路の迂回

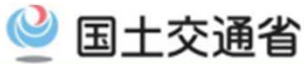
迂回案内看板設置完了

迂回案内看板設置完了

迂回案内看板設置完了

福井県災害交通マネジメント検討会

福井県の取組み(混雑分散のための国との連携)



(福井県提供)

8月11日 国道8号福井方向渋滞長推移

| 8/11 | 渋滞長 | 対応状況 |
|------|---------|------------------------------------|
| 9時 | 0.5km未満 | |
| 10時 | 5.0km | |
| 11時 | 5.0km | |
| 12時 | 7.5km | 国・県で対応を協議 |
| 13時 | 10.0km | 道路情報表示板変更 |
| 14時 | 7.5km | 国Twitter「476号→365号比較的空いている」 |
| 15時 | 8.0km | 知事Twitter「拡散お願い」 |
| 16時 | 8.0km | |
| 17時 | 7.0km | |
| 18時 | 7.0km | NHKニュースザウルスふくい |
| 19時 | 3.0km | 13時をピークに渋滞長は減少 |
| 20時 | 0.5km未満 | |

国の道路情報表示板でR476情報表示

国表示板: 27号 舞鶴方面 敦賀方面
岡山 - R8 渋滞おそれ R476 渋滞なし

8号 米原方面 金沢方面
正田 落下物多し 福岡注意 H8 渋滞おそれ R476 渋滞なし

県表示板: 国道476号 敦賀・高津原方面 国道476号 高津原方面
敦賀市 米原1 敦賀市 米原2
国道8号北行き 渋滞中 国道8号北行き 渋滞中

国と連携しTwitterで別ルート案内

杉本たつじ(福井県知事) @Tatsu... · 12時間
北陸道下り(北向き)敦賀IC～今庄IC間が不通のため、迂回路である国道8号(同区間北向き)の渋滞が激しくなっています。敦賀から国道476号→365号を経由するルートも開通して比較的空いています。ご利用ください。

※この投稿を拡散していただくと助かります。

リツイート 490件

交通状況マップ 04.8.11 16時現在



NHKニュースザウルスふくい、HPで広報

福井 NEWS WEB
復旧の国道8号できょう午後10キロの渋滞が発生
05/11/14 13:04:00
県や福井河川国道事務所より、国道8号では片側交互通行となっている池田第1の「嵐の朝河野」付近を先頭、最大でおよそ10キロの渋滞が発生しているということです。

国道365号福井方向通行台数推移

| 365号 | ～10時 | ～11時 | ～12時 | ～13時 | ～14時 | ～15時 | ～16時 | ～17時 | ～18時 | ～19時 |
|---------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 北進台数 | 314 | 361 | 381 | 436 | 461 | 557 | 496 | 449 | 428 | 271 |
| H27北進台数 | 202 | 197 | 198 | 169 | 231 | 198 | 234 | 233 | 262 | 164 |

国道365号・476号について
 ・H27調査交通量の約2倍通行(北進)
 ・15時をピークに交通が流入



国道365号、476号の交通状況(福井方向→が卓越)

福井県の取組み(大雨による通行止めに備えた対応)



令和4年8月16日

道路情報課
 福井市 砂町 福山
 電話：0776-20-0474
 代表：0776-21-1111 (3350)
 メール：douroken@pref.fukui.lg.jp

16日から18日の大雨による、北陸道、中部縦貫道、国道8号などの通行止めの可能性について【注意をお願いします】

福井地方気象台の発表によると、16日夕方から18日にかけて大雨となる可能性があります。

今回の大雨を受けた下記の道路については、降雨による道路の状況や通常の基準より少ない降雨でも通行止めとなる可能性があります。

- ・北陸自動車道 上り線 (今庄IC - 敦賀IC)
- ・中部縦貫自動車道 (福井北IC ~ 上志比IC)
- ・中部縦貫自動車道 (上志比IC ~ 大野IC)
- ・国道8号 (越前市春日野 ~ 南越前町大谷)
- ・国道8号 (南越前町大谷 ~ 敦賀市赤崎)
- ・国道8号 (敦賀市足田 ~ 敦賀市新道)
- ・国道161号 (敦賀市足田 ~ 敦賀市山中)
- ・国道365・476号 (南越前町合波 ~ 敦賀市新保)
- ・その他、県管理道路 (嶺北、敦賀市域)

つきましては、改めて、下記の点についてご協力をお願いします。

- 1 不要不急の移動はなるべく控えてください。また、テレワークを活用してください。
- 2 自家用車の利用は控え、公共交通機関を利用してください。
- 3 物流においては、大雨を避けた輸送計画を立てられるようご協力ください。

大雨による通行止めの可能性のある道路位置図




①大雨による通行止め可能性について、プレスリリース


②物流における輸送計画の見直しについて、福井県産業労働部、農林水産部から関係機関に周知

・各商工会議所、トラック協会、ショッピングセンター、スーパー、コンビニ、市場など

災害対応を踏まえた今後の検討事項①

| 項目 | 現場での課題 | 今後検討すべき事項 |
|-----------------|---|--|
| (1) 通れるマップの提供 | <ul style="list-style-type: none"> 道路の規制情報は、国道事務所、NEXCO、JARTIC等のHP等で速やかに提供されていた。 一方で、規制が行われていない道路で実際に車両の通行実績があったかのいわゆる「通れるマップ」については、データの取得や作成体制に課題があり、作成・公表できなかった。 | <ul style="list-style-type: none"> 大規模災害発生時の通れるマップ作成・公表の体制確保 ETC2.0プローブデータ等のデータ活用による通行実績情報収集の効率化 |
| (2) 効率的な渋滞状況の把握 | <ul style="list-style-type: none"> 国道8号での片交規制開始当初、渋滞状況把握は現地に調査人員を配置し実施したが、人員の確保、調査の面で過度な負担が発生。 交通量については、現地に使用可能なトラフィックカウンターがなく、CCTV映像から手動でカウント。  | <ul style="list-style-type: none"> CCTV映像等を活用した渋滞長や交通量把握の効率化 可搬式トラカン設置の迅速化 |
| (3) 災害時緊急バス | <ul style="list-style-type: none"> 手続きや運行条件(パトカー先導、職員が乗車し安全確認等)が各機関でルール化されておらず、対応にバラツキがあり、要請から運行開始の判断まで時間を要した。  | <ul style="list-style-type: none"> 災害時緊急バス運行の手続き及び運行条件の明確化 |
| (4) 利用者への情報発信 | <ul style="list-style-type: none"> 国道8号片交規制中に、北向き交通の優先通行を実施していた際、待ち時間の長い南向きのドライバーの一部から苦情が発生。 | <ul style="list-style-type: none"> 渋滞待ち車両への迂回誘導や待ち時間の理解を得るための情報提供の効率化 |

災害対応を踏まえた今後の検討事項②

| 項目 | 現場での課題 | 今後検討すべき事項 |
|----------------------|--|--|
| (5) 利用者への配慮 | <ul style="list-style-type: none"> 仮設トイレの種類(子供の利用も想定し、洋式トイレの確保が必要)、資機材の確保、トイレの設置間隔や案内手法の検討に時間を要した。  | <ul style="list-style-type: none"> 仮設トイレの手配・設置・案内の迅速化 |
| (6) 平時からの各機関の連携 | <ul style="list-style-type: none"> 道路情報板やSNSでの迂回誘導等の交通マネジメント関係の情報発信の際、道路管理者間での連絡・情報共有方法の調整が発災後で時間的な余裕がなく、道路管理者間での連絡調整に時間を要した。 | <ul style="list-style-type: none"> 平時からの情報発信の連携(例: 工事等による規制情報を道路管理者間で共有し、連携して発信) 発災後に道路管理者間で一元的に情報を共有できる仕組みを構築(例: 道路情報連絡室の開設・準備) |
| (7) 災害時交通マネジメントの知識浸透 | <ul style="list-style-type: none"> 検討会のノウハウが不足していたため、進め方や資料構成等について、検討に時間を要した。 被災範囲や被災時期に応じて、道路関係だけでなく、公共交通関係や観光関係などの参加が必要。 検討会の開催実績がなく、開催タイミングや議題の調整、資料作成等に時間を要した。 | <ul style="list-style-type: none"> 災害発生前からのメンバーリストの作成や検討すべき項目の共有 今回の交通マネジメント検討結果の全国発信、 他地域の交通マネジメント実績のデータベース化 |

石川県災害交通マネジメント検討会（能登半島地震）

<別紙>

石川県 災害時交通マネジメント会議 （能登半島地震）

日時：令和6年1月12日（金）
15：00～15：30
場所：国土交通省北陸地方整備局
金沢河川国道事務所
（WEB開催）

議 事 次 第

◆議 事

- （1）会議の設立について
- （2）会議の今後の進め方等について
 - ・被災状況について
 - ・これまでの対応状況について
 - ・現在の交通状況
 - ・今後の対応（案）
- （3）意見交換

◆配布資料

- ・【資料1】会議の設立について
- ・【資料2】説明資料

石川県災害時交通マネジメント会議（能登半島地震） 委員名簿

敬称略・順不同

公立小松大学 教授 高山 純一
金沢大学 人間社会研究域 教授 高橋 涼子
国土交通省 北陸地方整備局 道路部 道路計画課 課長
国土交通省 北陸地方整備局 道路部 地域道路課 課長
国土交通省 北陸地方整備局 道路部 道路管理課 課長
国土交通省 北陸地方整備局 金沢河川国道事務所 副所長
国土交通省 北陸信越運輸局 石川運輸支局 支局長
石川県 土木部 道路建設課 課長
石川県 土木部 道路整備課 課長
石川県 警察本部 交通規制課 課長
輪島市役所 建設部 土木課 課長
珠洲市役所 環境建設課 課長
能登町役場 建設水道課 課長
穴水町役場 地域整備課 課長
公益社団法人 石川県バス協会 専務理事
一般社団法人 石川県トラック協会 専務理事
中日本高速道路株式会社 金沢支社 道路管制センター 交通管制課長
西日本旅客鉄道株式会社 金沢支社 地域共生室 企画課長
のと鉄道株式会社 常務取締役兼鉄道部長
IRいしかわ鉄道株式会社 安全推進室長
自衛隊 中部方面隊第4施設団防衛班長
自衛隊 統合幕僚監部参事官付 主任
石川県県民ボランティアセンター 事務局長

※関係機関に要請し追加する場合もある

石川県災害交通マネジメント検討会（能登半島地震）

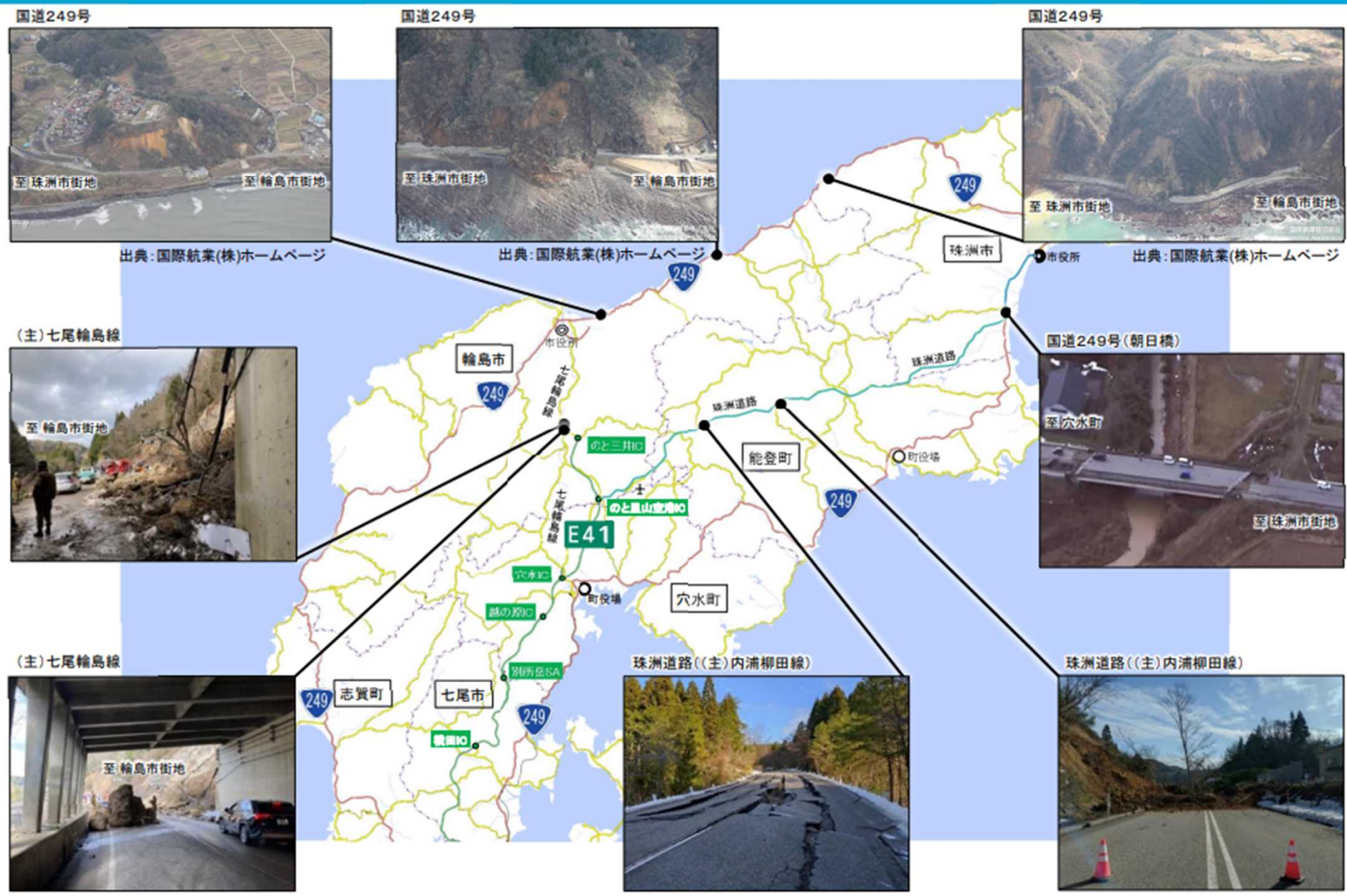
① 主な被災状況（能越自動車道・のと里山海道）



※本資料は調査時点の写真であり、応急復旧が完了している場合があります

石川県災害交通マネジメント検討会（能登半島地震）

①主な被災状況(国道249号・七尾輪島線・珠洲道路)



※本資料は調査時点の写真であり、応急復旧が完了している場合があります

石川県災害交通マネジメント検討会（能登半島地震）

②これまでの対応状況（緊急復旧）

令和6年能登半島地震 能登半島 道路の緊急復旧の状況 令和6年1月12日（金） 7時00分時点
国土交通省 道路局

- 1/4から国道249号の緊急復旧に着手。24時間体制を構築し、海側の国道249号の復旧に向け、（一社）日建連により緊急復旧作業を順次実施。
- 沿岸部では被災箇所が多数確認されているため、自衛隊と連携し、内陸側・海側の両方からくしの歯状の緊急復旧も進めており、既に7方向で通路を確保

緊急復旧の進捗率

| | | |
|-------------------|-----------|-----|
| | 1/7 7時 | 現在 |
| 半島内の 主要な幹線道路 | 約6割 ⇒ | 約8割 |
| うち国道249号 沿岸部※1 | 約2割 ⇒ | 約5割 |
| 沿岸部への到達 ※2 | 6方向 ⇒ | 7方向 |

※1: 輪島市門前町～珠洲市役所
※2: 伊勢崎 海側の西方

孤立地区数の推移

| | |
|----------|------|
| 1月5日8時 | 33地区 |
| 1月11日16時 | 22地区 |

※内閣府防災資料より
※孤立地区には支援物資が届けられているとの情報



- 凡例
- 青線: 国交省対応（走行可能）
 - 茶線: 県対応（走行可能・この他にも作業を実施）
 - 緑線: 自衛隊対応（走行可能）
 - 赤×: 被災規模 大
 - 黒×: 被災規模 小～中程度
 - ×: 完了（緊急復旧含む）
 - : 孤立集落（内閣府防災資料）
 - : 孤立集落（解消済）
 - ★: 復旧業者到達地点
 - : 沿岸部への到達点

石川県災害交通マネジメント検討会（能登半島地震）



②これまでの対応状況(記者発表)

1月4日
石川県
北陸地整
記者発表

・石川県
・北陸地方整備局

重要・緊急

令和6年1月4日(木)
取り扱い:配布を以て解禁

石川県能登地方への出控えに関するお願い

石川県能登地方において最大震度7の地震が発生し、被災箇所の復旧に全力に取り組んでいます。

被災地にお住まいの親族・知人等の安否を確認したい、個人で支援物資を届けたいというお気持ち理解致します。

しかし、現地では余震も続いており、**多くの車両が人命救助・復旧作業を行っています。**

通行可能な一部の路線では、被災によって道路幅が狭いなど原因で**渋滞も発生するなど、円滑な物資の輸送にも支障**となっています。また、**一般の車両が混在することにより、人命救助や復旧作業に支障が生じる**ことから、一般車両の能登地方への移動は控えて頂くようご理解とご協力をお願い致します。

【①主な被災状況(別添1)】

- ・能越自動車道 道路崩落、路面亀裂
- ・のと里山海道 道路崩落
- ・国道249号 土砂崩落

【②現在の交通状況(別添2)】

- ・金沢方面から能登半島方面に向かう車両が国道249号に集中し混雑がみられる
- ・七尾市内では、警察により災害復旧車両を優先した通行制限を実施

※最新の交通状況はHP等でご確認ください。

<記者発表先> 新潟県政記者クラブ、新潟政記者クラブ、新潟県内専門紙、
富山県政記者クラブ、富山県内専門紙、
石川県政記者クラブ、石川県内専門紙

お問い合わせ先

■国が管理する道路に関すること
国土交通省 北陸地方整備局 道路部 道路計画課 課長 北出 一雅 (内線 4211)
課長補佐 長谷川 孝志 (内線 4214)
新潟県中央区美咲町1-1-1 電話 025-280-8880 (代表)

■県が管理する道路に関すること
石川県 道路整備課 課長 小寺 基
石川県金沢市鞍月1-1 電話 076-225-1111 (代表)

①主な被災状況(能越自動車道・のと里山海道)

別添1



①主な被災状況(国道249号・七尾輪島線・珠洲道路)

別添1



②現在の交通状況

別添2



石川県災害交通マネジメント検討会（能登半島地震）

②これまでの対応状況（SNS発信）

1月4日 出控え要請

【公式】国土交通省 北陸地方整備局 @mlit_hokuriku

#石川県 #能登 地方への出控えに関するお願い
通行可能な一部の路線では、被災によって道路幅が狭いなど原因で渋滞も発生するなど、円滑な物資の輸送にも支障となっています。人命救助や復旧作業に支障が生じることから、一般車両の能登地方への移動は控えて頂くようお願いいたします。

作業を行っています。
通行可能な一部の路線では、被災によって道路幅が狭いなど原因で渋滞も発生するなど、円滑な物資の輸送にも支障となっています。また、一般の車両が混在することにより、人命救助や復旧作業に支障が生じることから、一般車両の能登地方への移動は控えて頂くようお願いいたします。

【主な被災状況(例示)】
・能登自動車道 道路幅狭、断崖電柱
・のと里山街道 道路幅狭
・国道249号 土砂崩落

【現在の交通状況(例示)】
・能登半島方面に比べ、石川県内から能登半島方面に向かう車線が国道249号に集中し混雑がみられる
・七尾市内では、警察により災害復旧車両を優先した通行制限を実施



午後6:12 · 2024年1月4日 · 49万 件の表示

👍 ポストのエンゲージメントを表示

🗨️ 34 🔄 3,640 ❤️ 4,274 📌 148 📤

1月10日 交通状況・出控え要請

【公式】国土交通省 北陸地方整備局 @mlit_hokuriku

#国道249号 穴水町乙ヶ崎付近で、水道管損傷による緊急工事を実施しています。現場は #片側交互通行 の規制を行っており、周辺道路は非常に混雑しています。注意して走行してください。

【公式】国土交通省 北陸地方整備局 @mlit_hokuriku · 23時間
#国道249号 七尾市から穴水町にかけて交通混雑が見られます。円滑な支援物資の輸送、人命救助、復旧作業に支障が生じることから、一般車両の能登地域への移動は控えていただくようお願いいたします。



午後6:46 · 2024年1月10日 · 6.7万 件の表示

👍 ポストのエンゲージメントを表示

🗨️ 3 🔄 527 ❤️ 775 📌 17 📤

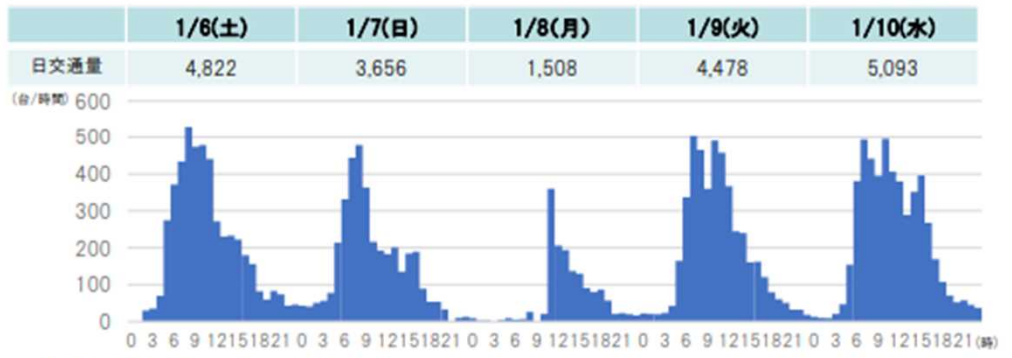
石川県災害交通マネジメント検討会（能登半島地震）

国土交通省
北陸地方整備局

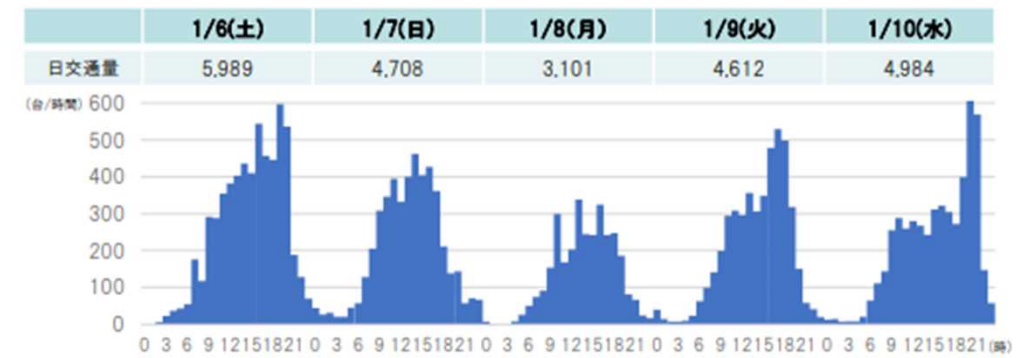
③現在の交通状況(国道249号 七尾市～穴水町間の状況)



交通量(北向き:穴水町方向)



交通量(南向き:七尾市方向)



交通状況①
穴水町乙ヶ崎付近



交通状況②
七尾市中島町笠師～中島町塩津地内



石川県災害交通マネジメント検討会（能登半島地震）



③現在の交通状況 プローブ通行実績 （能登半島【北部拡大版】 1月9日8時～1月11日8時）

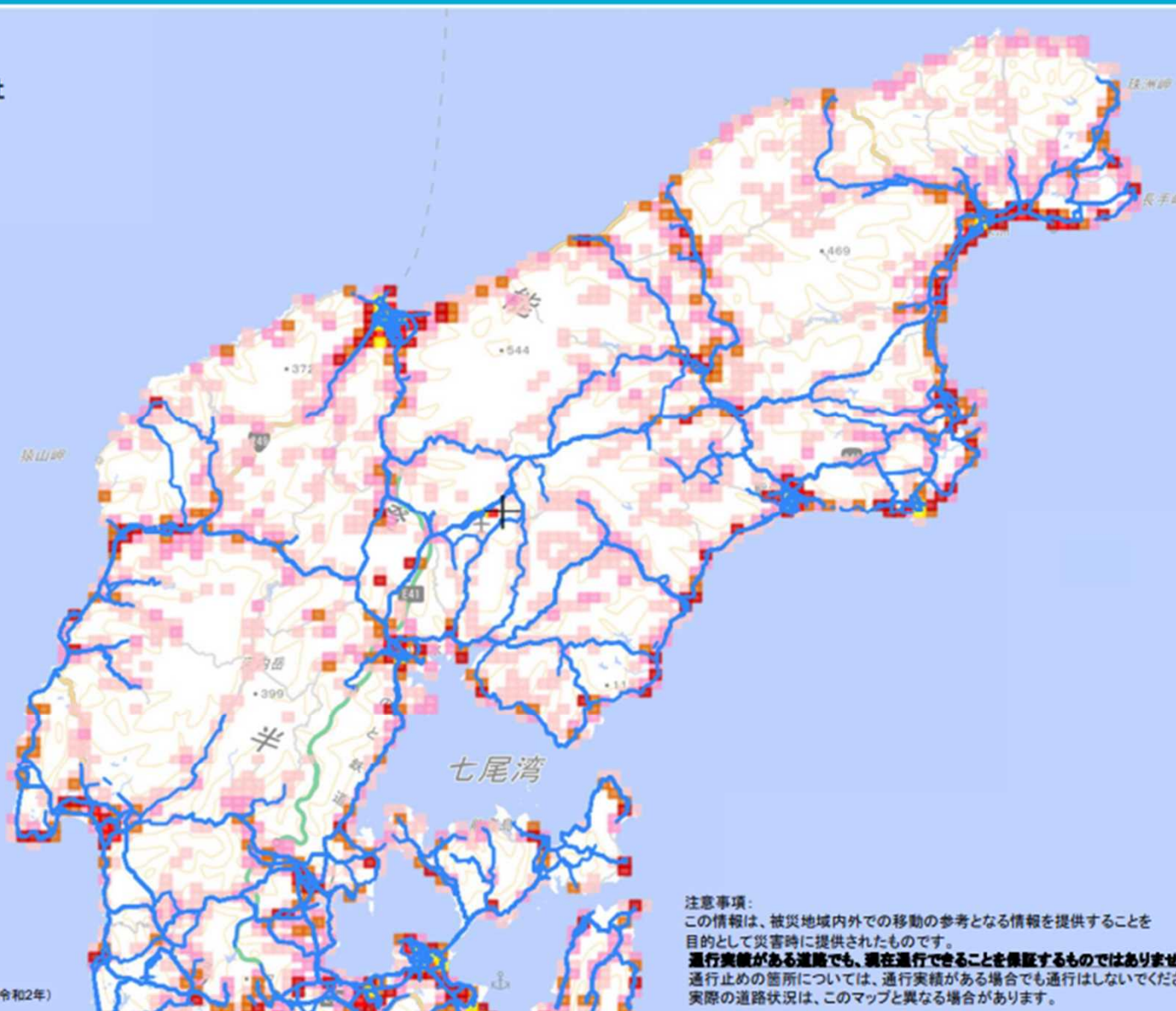
※青線箇所が通行実績あり

提供元
ITS Japan
本田技研工業株式会社
パイオニア株式会社
トヨタ自動車株式会社
日産自動車株式会社
いすゞ自動車株式会社
日野自動車株式会社

色 500mメッシュ
あたり人口(人)

| |
|---------|
| 1～19 |
| 20～49 |
| 50～99 |
| 100～299 |
| 300～499 |
| 500～999 |

※人口メッシュ(500m):
(総務省)国勢調査に関する地域メッシュ統計(令和2年)



注意事項:
この情報は、被災地域内外での移動の参考となる情報を提供することを
目的として災害時に提供されたものです。
通行実績がある道路でも、現在通行できることを保証するものではありません。
通行止めの箇所については、通行実績がある場合でも通行はしないでください。
実際の道路状況は、このマップと異なる場合があります。

石川県災害交通マネジメント検討会（能登半島地震）

③現在の交通状況（プローブ旅行速度）



〔令和6年1月11日（木） 8時～10時 旅行速度データ〕



【凡例】

- 0～10km/h
- 11～20km/h
- 21～30km/h
- 31km/h～

（出典）

旅行速度：ETC2.0通行実績

交通量：R3全国道路・街路交通情勢調査（日交通量）

石川県災害交通マネジメント検討会（能登半島地震）

③現在の交通状況（所要時間）



七尾市(徳田大津)からの所要時間

| | 1月6日 (土) | 1月7日 (日) | 1月8日 (月) | 1月9日 (火) | 1月10日 (水) | 1月11日 (木) |
|-----------|-------------|-------------|-------------|-------------|--------------|--------------|
| 穴水町 まで | 約2時間 | 約1時間 | 約1.5時間 | 約1時間 | 約3時間 | 約2時間 |
| 輪島市 まで | 約5時間 | 約3時間 | 約5時間 | 約2時間 | 約3時間 | 約3時間 |
| 珠洲市 まで | 約5時間 | 約4時間 | 約4時間 | 約3時間 | 約4時間 | 約3.5時間 |

- ・1/4 10:00～ R249田鶴浜東交差点(のと里山 田鶴浜IC接続交差点)で「災害復旧車両を優先した通行制限」を実施
 - ・1/5 14:00～ R249大津交差点(のと里山 徳田大津IC接続)で「災害復旧車両を優先した通行制限」を実施
- (のと里山海道「徳田大津IC～上榎矢駄IC」交通解放に伴い、田鶴浜東交差点から大津交差点へ通行制限箇所を移動)



- ・1/7 8:00～ のと里山街道「県立看護大IC」～「徳田大津IC」
緊急車両等の除外車両以外は通行不可

1/8 大雪

1/10
片側交互
通行規制
水道管緊急復旧工事
(穴水町乙ヶ崎地先)

※七尾市からの出発時刻は、7時～9時
※穴水町までの所要時間は、七尾市から輪島市と七尾市から珠洲市のうち、所要時間が大きい方を記載

④今後の予定(案)

1 日も早い復旧に向けて

- ①一般車両の被災地方面への出控えを要請
 - ②ピーク時間帯を避けた行動変容を要請
 - ③道路規制情報、渋滞情報等を幅広く情報提供
 - ⇒ 記者発表、ラジオ、ホームページ、SNS等による呼びかけを継続
 - ⇒ 道の駅、道路情報板による情報発信
- * 通行実績等表示システム情報（北陸地整提供）を共有 → 各道路管理者の確認 → 道路情報として公表
- ④緊急車両（警察・消防・復旧車両）の優先通行を継続
 - ⑤被災箇所における迂回供用の早期解消
 - ⑥段差解消等走行環境の早期改善
 - ⑦webカメラ設置による交通状況監視

④今後の予定(案)

⑧国道470号（能越自動車道）の早期通行止め解除

⑨車線運用の変更、信号現示の調整など

- 例）・主要交差点における信号制御によらない交通規制、信号現示の調整
・啓開、応急復旧完了路線における緊急車両専用の規制、柔軟な専用通行時間の設定
・1車線通行区間（箇所）の仮設信号による片側交互の交通処理

⑩渋滞が予想される区間に臨時トイレの設置など
（道路利用者への配慮）

**今後の交通状況に応じて、関係者間で情報共有を図り、
その時点で必要な対策を柔軟に検討・見直しながら
交通マネジメントを実施していく**

（今後想定される交通量の増加要因 災害ボランティアの受け入れ対応、土砂・瓦礫処理の対応など）

石川県災害交通マネジメント検討会（能登半島地震）

「道路復旧見える化マップ」掲載情報

1/12 17時頃公表予定 ※掲載情報は今後随時更新予定

URL <https://www.mlit.go.jp/road/r6noto/index2.html>



道路の緊急復旧済み区間、作業状況



七尾市から輪島市・珠洲市への所要時間・速度状況（毎日更新）



道路被災状況（航空測量各社※調査の空撮画像を集約）

(※朝日航空(株)・アジア航空(株)・国際航空(株)・(株)Jスコ)



【秋田県災害時交通マネジメント検討会】今後の進め方(案) 【資料3】

- ・令和6年9月に災害時交通マネジメント検討会を設立。第1回検討会を開催し、趣旨や事例などを周知。
- ・平常時に事例紹介や災害に備え情報連絡網の構築、交通手段の工夫を広報。
- ・その他取り組みについて事務局より関係部局を交えた打ち合わせなどにより実行可否及び進め方を整理。

令和6年9月10日 秋田県災害時交通マネジメント検討会 設立

・災害時交通マネジメントの目的と事例紹介

※秋田県地域防災計画の記載については調整中



【平常時】

令和6年度～

平時における事前準備

- ・情報連絡網の構築
- ・交通手段の工夫(公共交通機関の利用)をするよう広報
- ※その他、提案あった施策内容について事務局より関係部局を交えた打ち合わせなどにより実行可否及び進め方を整理



令和7年度以降(年1回程度)

秋田県災害時交通マネジメント検討会 定例会

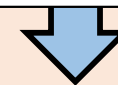
- ・情報提供、共有

【災害時】

大規模災害など

- ・幹線道路や鉄道が広範囲に被災
- ・長期間の交通ネットワークが途絶の恐れがある場合

検討会委員又は自治体からの要請を受け会長の判断によって開催



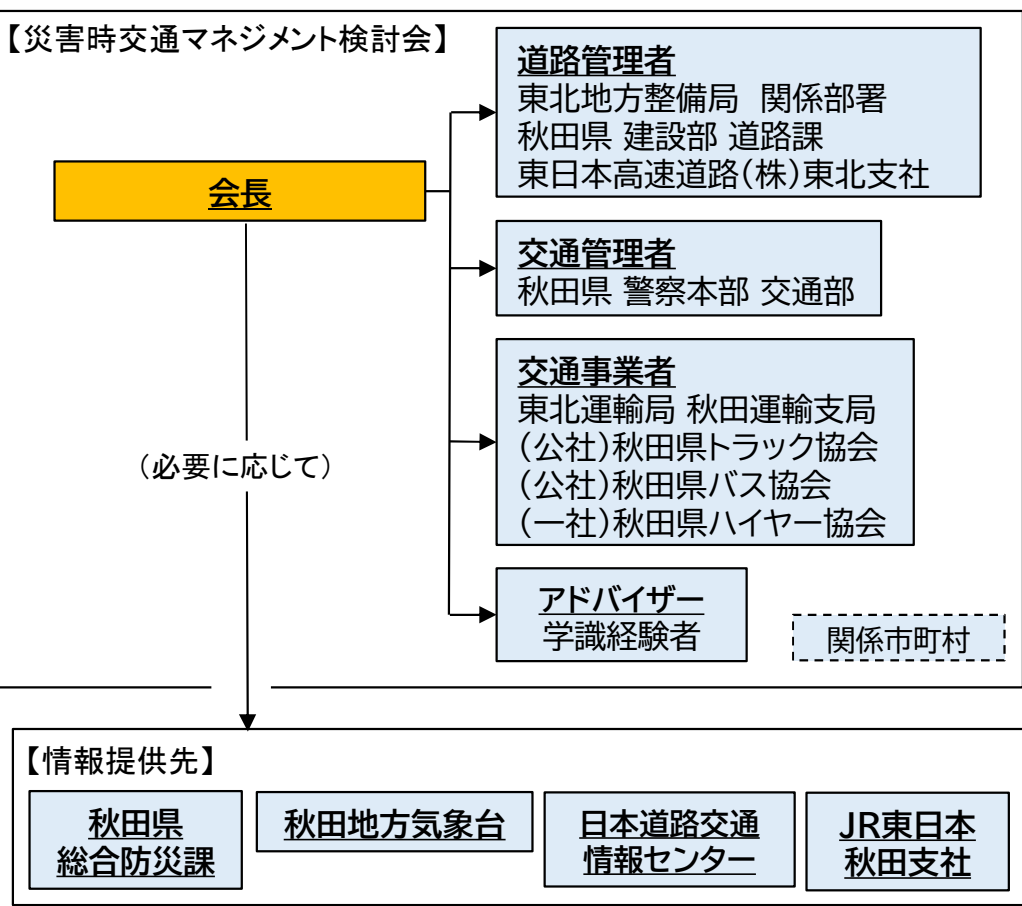
秋田県災害時交通マネジメント検討会
本会議開催

平常時の災害時交通マネジメント検討会の活動について

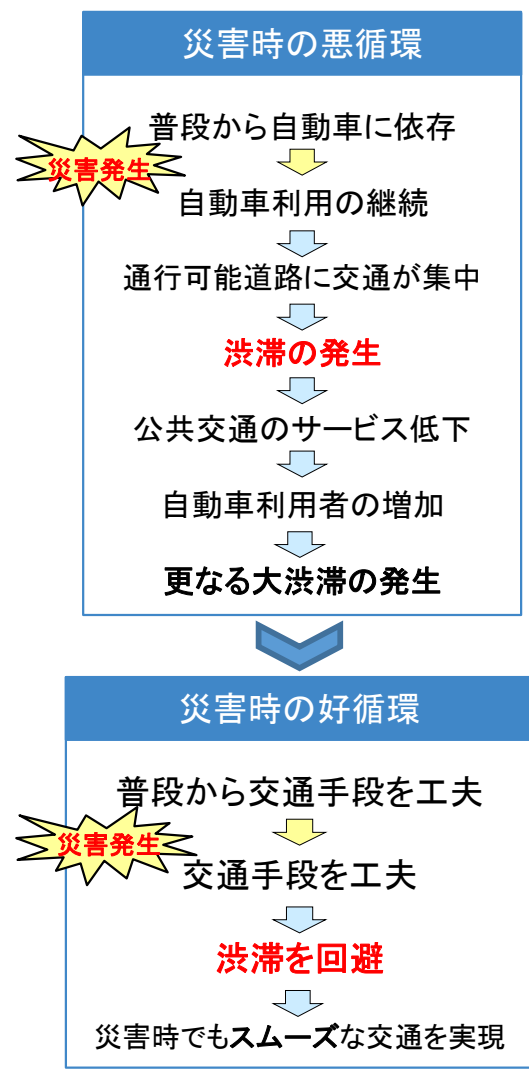
- ・事前に情報連絡網を構築することによって、対応に追われる大規模災害発生時でも速やかに情報共有を図る。
- ・検討会委員のみならず、必要に応じて関係機関へ情報提供。
- ・平時から交通渋滞緩和のため、交通手段の工夫(公共交通機関の利用)するよう広報。(交通需要マネジメント)。

情報連絡網の構築(案)

対応に追われる大規模災害発生時でも速やかに情報共有が行えるようにする。



交通手段の工夫(公共交通機関の利用)



ノーマーカーの目的

秋田県では、渋滞緩和や燃費効果向上といった都市環境を改善する一歩として、日ごろマイカー通勤されている方を対象に、公共交通や徒歩、自転車など環境にやさしい交通手段へ転換するきっかけづくりとして、**ノーマーカー**を設定し、公共交通機関などを上手に活用した、自家用車に頼りすぎないライフスタイルを推奨しています。

| 表示日時 | 国道7号 箇所名 | KP | 区分 |
|--------------------------------|----------|--------|----|
| R5.9.1(金) ~10.26(木) 7~9時 | 飯田川 | 290.33 | 上り |
| | 中野 | 280.50 | |
| | 寺内 | 272.98 | |

表示内容

朝の渋滞対策実施中
9月・10月の金曜日

朝の渋滞対策実施中
時差出勤等にご協力ください

▲TDMIによる道路情報板での協力案内